

2023年度（令和5年度） 事業年報 Annual Report

公益財団法人 山口県予防保健協会

目次

協会について	2
概要、事業の目的、沿革	3
組織図（2025 年度）	4
役員名簿	5
評議員名簿	6
社会的責任の基本方針	7
行動基準	8
個人情報保護方針	9
2023（令和5）年度事業報告	10
1．普及啓発事業	12
2－1．受診者数の推移	16
2－2．学校保健事業	18
2－3．地域保健事業	19
ア）胃がん検診	19
イ）子宮頸がん検診	20
ウ）肺がん検診(エックス線)	21
エ）肺がん検診(喀痰)	22
オ）乳がん検診	23
カ）前立腺がん検診	23
キ）大腸がん検診	24
ク）特定健診	25
ケ）骨粗しょう症検診	27
2－4．職域保健事業	28
ア）胃がん検診	28
イ）子宮頸がん検診	29
ウ）肺がん検診(エックス線)	30
エ）肺がん検診(喀痰)	31
オ）乳がん検診	32
カ）大腸がん検診	34
キ）特定健診	35
ク）腹部超音波検診	37
ケ）前立腺がん検診	38
コ）骨粗しょう症検診	39
サ）特殊健康診断	40
シ）アレルギー検査	40
ス）労災二次健診	41
セ）血液検査	42
ソ）その他検査	45
2－5．新生児先天性代謝異常検査	48
2－6．特定保健指導	52

協会について



概要

名称	公益財団法人山口県予防保健協会
設立	1986 年 3 月
所在地	山口県山口市吉敷下東三丁目 1 番 1 号
代表者	理事長 加藤 智栄（山口県医師会 会長）

事業の目的

この法人は、健康の保持増進、生活環境の保全など、公衆衛生の向上を図るため、がんをはじめとした各種の健康診断、生活習慣に関する保健指導、生活環境の調査及び分析、食品及び飲料水の検査などを行い、併せて、これらの事業により得られた成果等を基に広く啓発活動を実施し、もって新生児から高齢者まで、誰もがそのライフステージに応じて健康で、安心して暮らせる社会づくりに寄与することを目的としています。

沿革

●1974 年 5 月

公衆衛生、労働衛生の向上及び社会福祉の発展に寄与することを目的とする公益法人として「財団法人山口県予防衛生協会」を設立する。

●1975 年 4 月

名称を「財団法人山口県予防衛生医学協会」に改称する。

●1986 年 3 月

「財団法人山口県予防衛生医学協会」と「財団法人結核予防会山口県支部」が統合し、「財団法人山口県予防保健協会」を設立する。（「財団法人結核予防会山口県支部」を兼ねる）

●1996 年 4 月

「財団法人山口県対がん協会」と合併。（「財団法人日本対がん協会山口県支部」を兼ねる）

●2013 年 4 月

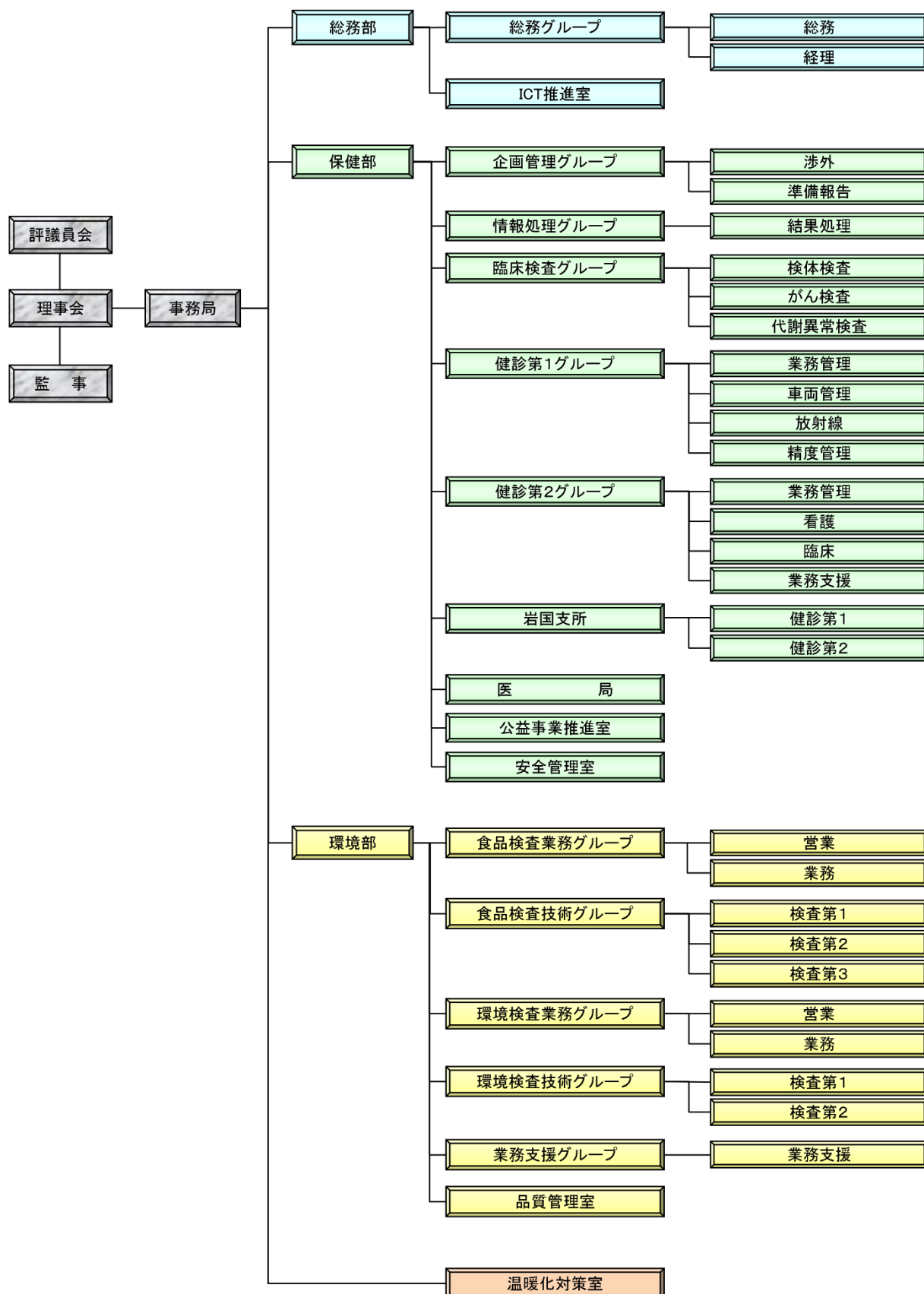
山口県の認定を受け公益財団法人化し、名称を「公益財団法人山口県予防保健協会」に改称する。

●2019 年 4 月

公益財団法人予防医学事業中央会に加盟する。（「公益財団法人予防医学事業中央会山口県支部」を兼ねる。）

公益財団法人山口県予防保健協会組織図

2025 年 4 月 1 日現在



役員名簿

2025 年 6 月 19 日現在

役員名	常勤 ／非常勤	氏名	推薦母体 所属
理 事 長	非常勤	加藤 智栄	山口県医師会 山口労災病院 院長
副理事長	非常勤	石丸 泰隆	山口県 山口県健康福祉部長
副理事長	非常勤	松本 常男	山口県予防保健協会 山口宇部医療センター 名誉院長
専務理事	常勤	若林 芳典	山口県予防保健協会 山口県予防保健協会 専務理事
理 事	非常勤	尾中 宇蘭	山口県病院協会 尾中病院 理事長
理 事	非常勤	佐世 正勝	山口県産婦人科医会 山口県立総合医療センター 総合周産期母子医療センター長
理 事	非常勤	塩田 直樹	山口県産業医会 U B E (株) 人事部健康センター 統括産業医
理 事	非常勤	篠崎 圭二	山口県市長 宇部市長
理 事	非常勤	中村 洋	山口県医師会 済生会湯田温泉病院 院長
理 事	非常勤	藤井 恵子	山口県連合婦人会 山口県連合婦人会 会長
理 事	非常勤	米本 正明	山口県町村会 和木町長
監 事	非常勤	小池 政弘	山口銀行 山口銀行 専務執行役員山口支店長
監 事	非常勤	重村 和雄	税理士法人塩見会計事務所 税理士法人塩見会計事務所 代表社員

13 名

評議員名簿

2025 年 6 月 19 日現在

氏名	推薦母体 所属
戎本 潤	山口産業保健総合支援センター 山口産業保健総合支援センター 副所長
沖中 芳彦	山口県医師会 沖中耳鼻咽喉科クリニック 院長
栗元 教行	健康保険組合連合会山口連合会 健康保険組合連合会山口連合会 事務局長
調 恒明	山口県 山口県環境保健センター 所長
関根 雅彦	山口県予防保健協会 山口大学 名誉教授
高橋 幸広	山口県 山口健康福祉センター 所長
堤 雄介	山口県産業医会 堤労働衛生コンサルタント事務所
藤井 郁英	山口県医師会 阿知須共立病院 総合健診センター長
本多 昭洋	山口県市町総合事務局 山口県市町総合事務局 事務局長
光永 将	山口県病院協会 山口県病院協会 事務局長

10 名

公益財団法人山口県予防保健協会

社会的責任の基本方針

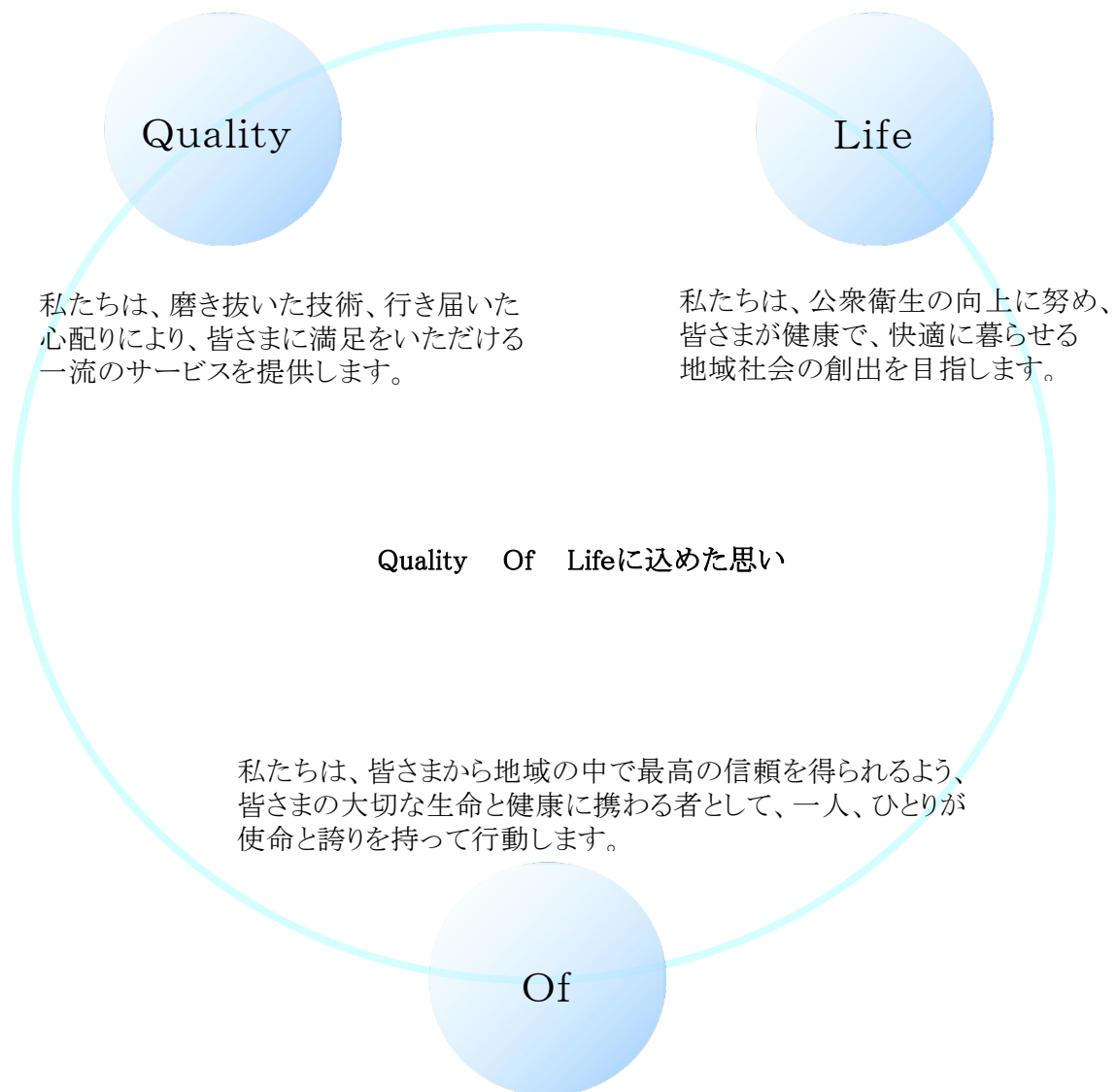
当協会は、健康の保持増進、生活環境の保全など、公衆衛生の向上を図るため、がんをはじめとした各種の健康診断、生活習慣に関する保健指導、生活環境の調査及び分析、食品及び飲料水の検査などを行い、併せて、これらの事業により得られた成果等を基に広く啓発活動を実施し、もって新生児から高齢者まで、誰もがそのライフステージに応じて健康で、安心して暮らせる社会づくりに寄与することを目的として事業を進めます。

当協会は、責任ある公益財団法人として、以下のことについて自主的かつ継続的に取り組んでまいります。

- 1 法令遵守の徹底と倫理観の確立
- 2 健康診断・食品や環境検査を通じ社会への貢献
- 3 精度管理を徹底し、高品質なサービスの提供
- 4 情報開示及びセキュリティ対策の実施
- 5 公正な競争・取引、適正な事業活動
- 6 地球環境保護に配慮した適切な行動

Quality Of Life

私たちは 皆さまの 生活の質を高めるため
心身の健康と 安心して快適に暮らせる環境づくりに貢献します



個人情報保護方針

公益財団法人山口県予防保健協会は、健康の保持増進、生活環境の保全など、公衆衛生の向上を図るため、がんをはじめとした各種の健康診断、生活習慣に関する保健指導、生活環境の調査及び分析、食品及び飲料水の検査などを行い、併せて、これらの事業により得られた成果等を基に広く啓発活動を実施し、もって新生児から高齢者まで、誰もがそのライフステージに応じて健康で、安心して暮らせる社会づくりに寄与することを目的としています。

それらに関連して、皆様から取得いたしました個人情報につきましては、正確かつ安全に取扱い、保護・管理に万全を期するために、職員に対する指導を徹底強化し、個人情報の紛失、改ざん及び漏洩等が発生しないよう、万全なる安全対策を継続的に講じていくため、次のとおり宣言します。

- 1 当協会の実施している事業で労働安全衛生法、学校保健法、母子健康法、原爆医療法及び感染症法等に係る健康診断又はがん検診、全国健康保険協会生活習慣病予防健診並びに生活環境の保全に関する検査、食品の安全衛生に関する検査の事業活動において、適正な個人情報の取得、利用及び提供が確実に実施されるような体制を維持します。
- 2 個人情報を取得するに当たっては、利用目的を明示するとともに、その利用については同意が得られた範囲内での利用・提供に限定し、目的外利用はいたしません。また、当協会が保有する個人情報を読影等で外部委託する場合は、委託先の評価・管理を実施し、安全な保護水準を維持します。
- 3 当協会が取扱う個人情報へのあらゆるリスク（漏洩、滅失又はき損）に対し、効果的な安全対策等の予防措置を講ずるとともに、リスク発生時には速やかに是正処置を講じることにより、再発を防止します。
- 4 個人情報に関する苦情及び相談に対して速やかに対応いたします。
- 5 個人情報保護のため、個人情報保護規程のほか、各種管理細則を定め、定期的な内部監査等を通じて継続的な改善を行うとともに、法令の改正、国の定める指針等を注視し、社会情勢の変化等に適合した管理体制を維持します。

制 定 日 2007年10月 7日

最終改訂日 2022年 8月 4日

公益財団法人山口県予防保健協会
理 事 長 加 藤 智 栄

個人情報相談窓口

総務部 一般的な個人情報に関すること

保健部 健康診断に関すること

TEL 083-933-0008 FAX 083-923-5567

環境部 水質、その他の検査に関すること

TEL 083-941-6300 FAX 083-941-6400

2023（令和5）年度事業報告

集計期間は2023年4月1日から2024年3月31日

精検受診に関するデータは2024年12月1日時点までを集計



総括的事項

2023年度については、コロナ禍からの回復が景況感を押し上げる一方、物価高がその重しとなるなど、先行き不透明な景気動向が続く中、現場の自律性を引き出し、不確実な変化への即応力を高めながら事業計画の達成に努めた。

その結果、事業収益は2,195,566千円と、事業計画に対して2.0%下回った。各事業の展開は次のとおりである。

公益目的事業として実施した保健事業（公1）については、コロナ禍からの回復に伴い新型コロナウイルス関連業務が縮小する中、事業の支柱である健康診断業務において、一定の需要回復を見込んだものの、主力の事業所健診とともに住民健診も伸び悩み、事業収益が1,529,413千円と、事業計画を2.8%下回った。

こうした中、普及啓発業務では、県内初開催の「がん征圧全国大会」等を通じて、がんをはじめとする生活習慣病等の疾病の予防や、健康の保持増進に関する普及啓発を図り、県民が健康で安心して暮らせる社会づくりに貢献した。また、健康診断業務では、コロナ禍からの回復に伴う繰越需要等を捕捉しながら業績の維持向上に努めるとともに、新たに別館集合健診をはじめ拡大新生児マスキリーニング検査（3疾患）やHPV検査の実施体制を整備した。

温暖化防止事業（公2）については、脱炭素社会の実現に向けた動きが加速する中、事業が拡大し、事業収益が25,508千円と、事業計画に対して3.4%上回った。

事業の実施に当たっては、県より指定を受けた山口県地球温暖化防止活動推進センターとして、国や県等の民間団体向け補助・委託事業を積極的に受託し、啓発・広報活動を通じて地域における温室効果ガス排出削減等の取組の促進に努めた。また、温室効果ガス排出量の削減目標の再設定等が行われた「山口県地球温暖化対策実行計画」に基づき、新たな目標等の達成を目指し、地域における温暖化対策を推進した。

収益事業として実施した環境事業（収）については、先見的な視点で業務拡大に取り組み、堅調に推移し、事業収益が640,645千円と、事業計画に対して概ね同程度であった。

こうした中、環境保全業務及び飲用水検査業務では、依然として厳しい受注環境が続くものの、潜在需要を掘り起こしながら業務の維持拡大に努め、収益力の向上を図った。また、全国を市場として展開する食品検査業務では、その中核となる残留農薬検査や栄養成分検査等により業績の維持向上に努めるとともに、プラントベース食品等、今後消費拡大が期待される次世代食品の検査に着目し、更なる業務拡大を目指し、検査室の増床・再整備を図った。

業務実施報告

（単位：千円）

	計 画 (A)	実 績 (B)	前年度実績 (C)	B / A (%)
保 健 事 業 (公1)	1,572,996	1,529,413	1,701,751	97.2
温暖化防止事業 (公2)	24,678	25,508	19,904	103.4
環 境 事 業 (収)	642,278	640,645	624,255	99.7
合 計	2,239,952	2,195,566	2,345,910	98.0

1. 普及啓発事業

■がん征圧全国大会 山口大会

「維新の地からひろげよう新たながん対策」をテーマに9月8日（金）かめ福オンプレミス2Fロイヤルホールにて、がん征圧全国大会 山口大会を開催しました。

新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着き、4年ぶりに関係者約400人が一堂に会しました。

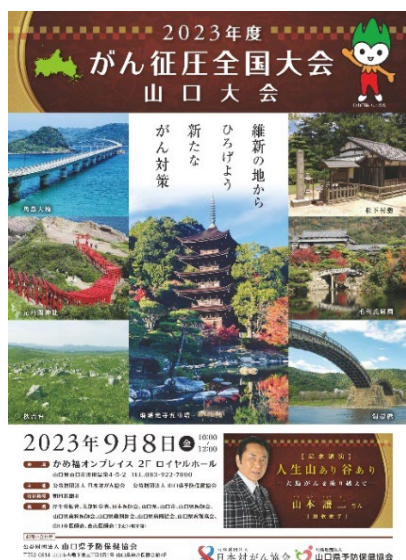
主催者を代表して当協会加藤智栄理事長の開会あいさつから始まり、日本対がん協会の垣添忠生会長のあいさつ、来賓祝辞と続けました。

表彰では2023年度日本対がん協会賞として団体1社、個人4人、第23回朝日がん大賞として団体1社、がん征圧スローガン入賞者1人、全国のグループ職員の永年勤続者97人が表彰されました。

当協会松本常男副理事長が、がん征圧に長年寄与したとして2023年度日本対がん協会賞を受賞しました。また永年勤続で当協会職員が代表として表彰されました。

記念講演では「人生山あり谷あり～大腸がんを乗り越えて～」を演題として山口県ゆかりの歌手山本譲二さんの講演がありました。

山口県アピールではリレー・フォー・ライフ・ジャパンやまぐち実行委員会の國光由美子さんが患者支援と、がん征圧に向けたチャリティ活動の報告、次期開催地あいさつ（埼玉県）、閉会あいさつと続き、盛況のうちに大会は終了しました。



■世界禁煙デー

世界保健機関（WHO）は、平成元年に5月31日を「世界禁煙デー」と定め、喫煙しないことが一般的な社会習慣となることを目指しはじめました。厚生労働省においても平成4年から世界禁煙デーの始まる1週間（5月31日～6月6日）を「禁煙週間」として定めています。

株式会社サンデー山口様の協力を得て、5月31日（水）の新聞に広告を掲載し啓発活動を行いました。

■芸術村フェスティバル

6月18日（日）秋吉台国際芸術村で開催されました。

リレー・フォー・ライフ・ジャパンやまぐちの実行委員の方々と、がん患者支援活動を写真などの展示にて啓発活動を行いました。また、募金活動やグッズ販売をしました。



■複十字シール運動

8月7日（月）に結核予防の知識の普及啓発や複十字シール運動の推進への協力要請のため、山口県結核予防婦人会（山口県連合婦人会）の皆様と当協会理事長が村岡嗣政山口県知事を表敬訪問しました。結核予防マスコットキャラクターの「シールぼうや」のぬいぐるみや啓発資料、グッズ等を贈呈しました。

また、10月29日（日）に山口県結核予防婦人会（山口県連合婦人会）の皆様と「わき愛あいフェスタ」にて街頭募金活動を行いました。





■がん征圧月間の啓発

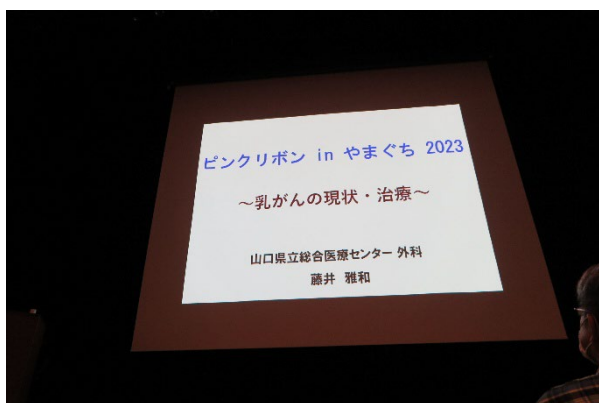
厚生労働省は毎年9月をがん征圧月間と定め、がん予防に対する意識啓発を目的として、適切な予防や早期発見、早期治療を呼び掛けています。

昨年度に引き続き、防長交通株式会社様の協力を得て、県内の各エリア（柳井市、周南市、下松市、防府市、山口市、萩市等）14路線のバスで広報するとともに、山口県総合保健会館に垂幕を掲示しました。

また、株式会社西部毎日広告社様、株式会社読売広告西部様、株式会社宇部日報様、株式会社朝日広告社様、株式会社サンデー山口様の協力を得て、新聞各社に広告を掲載し啓発活動をしました。

■ピンクリボンイベント

10月のやまぐちピンクリボン月間にあたり、9月30日（土）乳がんに関する県民公開講座「ピンクリボン in やまぐち 2023」を山口県健康づくりセンター多目的ホールで、公益財団法人山口県健康福祉財団と共催し、約400人の参加がありました。基調講演で山口県立総合医療センター乳腺外科部長の藤井雅和先生が「ピンクリボン in やまぐち 2023～乳がんの現状・治療～」、特別講演としてお笑いタレントの山田邦子さんが「笑顔で免疫を上げましょう！！」と、それぞれの演題で講演が行われました。



■リレー・フォー・ライフ・ジャパンやまぐち

地域でつながるがん征圧・がん患者支援のためのイベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2023 やまぐち」を山口県総合保健会館 2階にて、10月21日（土）に開催しました。

今年、8回目となるリレー・フォー・ライフ・ジャパンやまぐちは、昨年につき、室内で開催しました。100人の方に参加していただき、会場にはたくさんのルミナリエが並べられ、HOPEが綺麗に輝いていました。また、実行委員が参加者に寄り添い、話しかけて一緒に歩き、楽しんでいる様子を見て、参加者も実行委員も楽しめる温かいリレーをこれからも続けていきたいと思いました。



■世界糖尿病デー

国際連合は毎年11月14日を世界糖尿病デーに認定し、世界各地で糖尿病の予防、治療、療養について啓発運動を推進することとしました。世界糖尿病デーを含み一週間を「全国糖尿病週間」として啓発運動が行われています。糖尿病に対する誤った情報や偏見をなくし、糖尿病患者の権利を守ることが、適切な治療や重症化予防につながると呼びかけています。

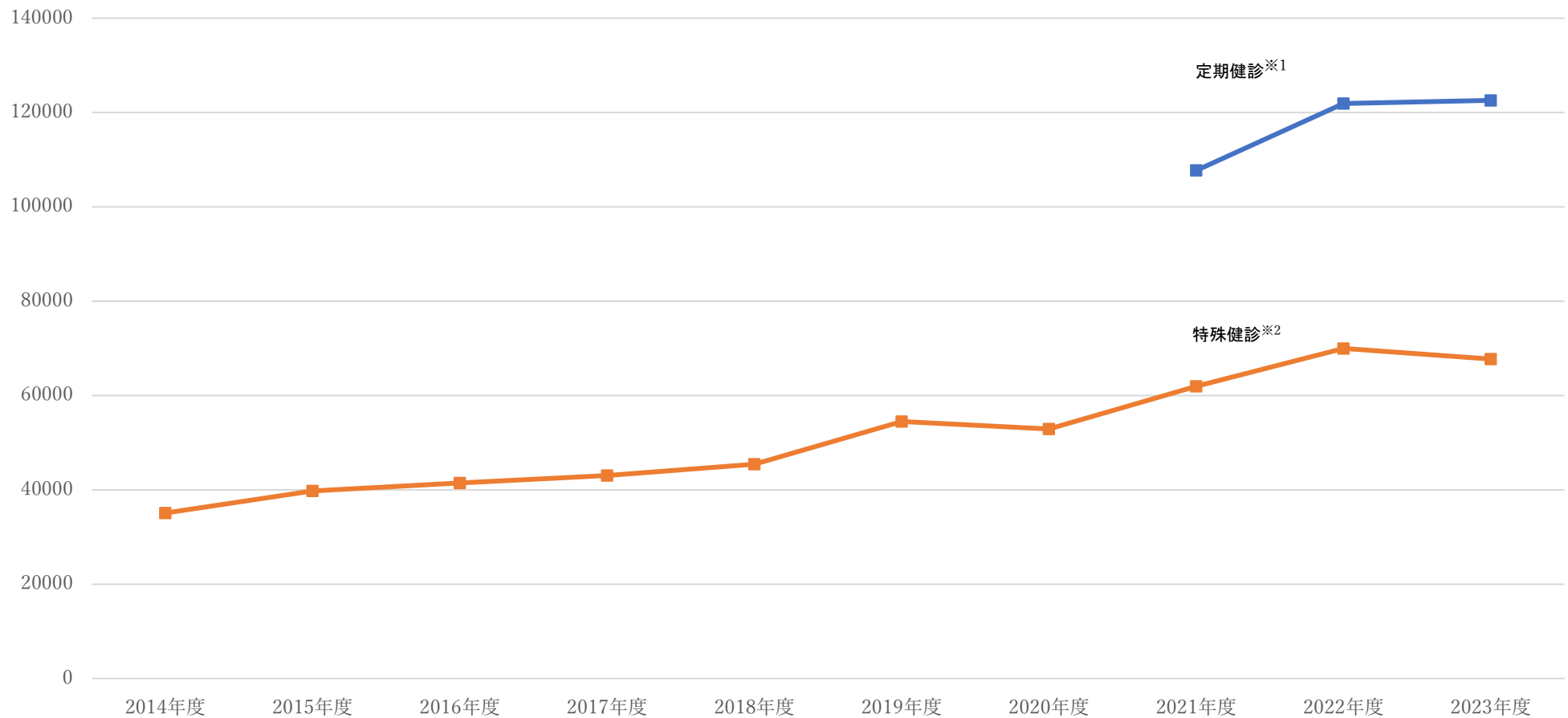
糖尿病の予防や治療継続の重要性について、株式会社サンデー山口様の協力を得て、11月8日（水）に広告を掲載し啓発しました。

■その他の啓発

結核予防週間（9月）、生活習慣病予防月間（1月）を株式会社サンデー山口様の協力を得て広く啓発を行いました。

2－1．受診者数の推移

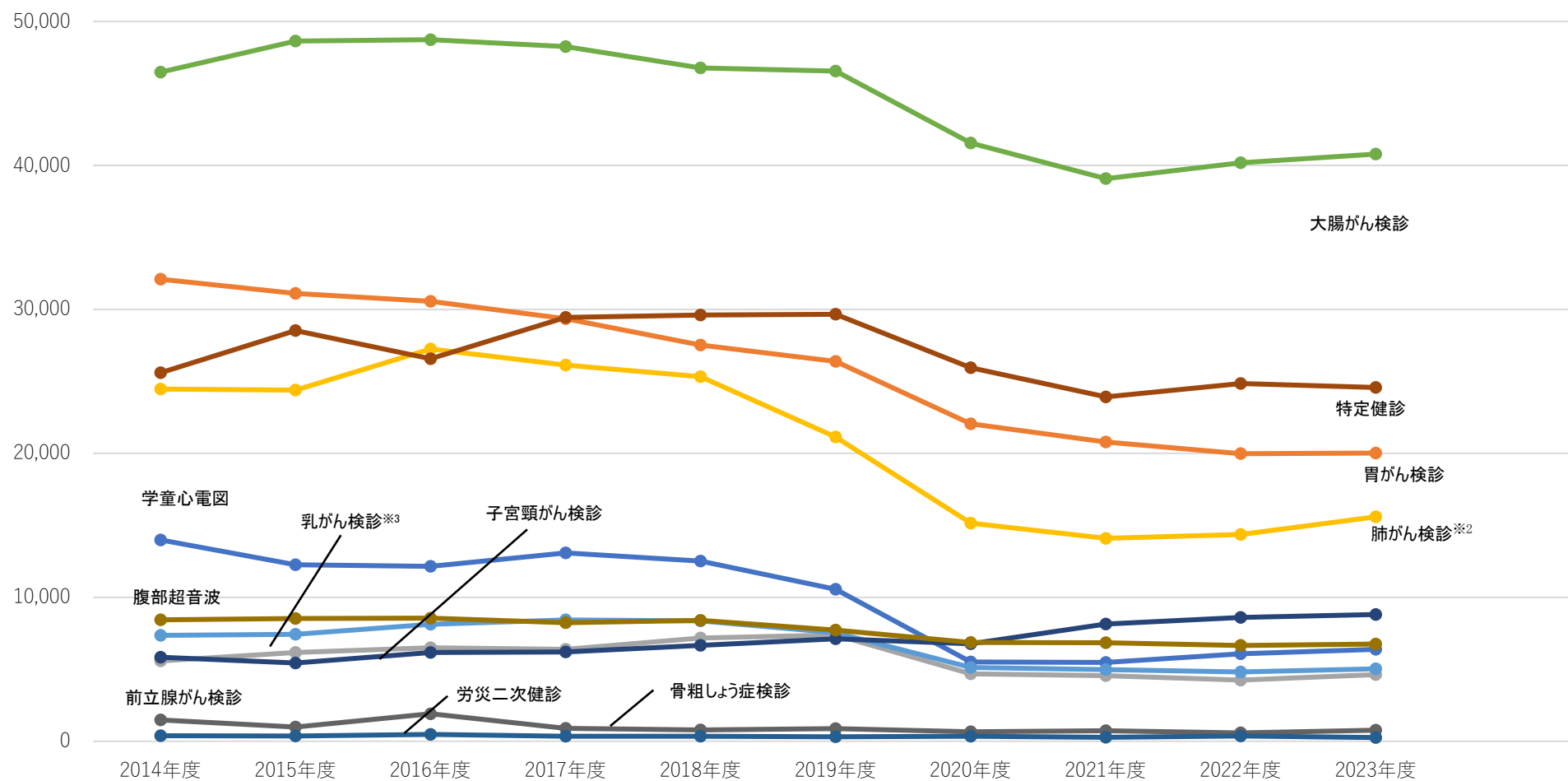
図1 検診種別による受診者数(件数)の推移



※1 定期健診は2020年以前の集計方法が違い、2021年度から掲載した

※2 特殊健診は延べ人数で算出した

図2 検診種別による受診者数(件数)の推移



※¹2021年度に各項目の集計方法の見直しを行ったため、件数が増加した

※²肺がん検診は胸部X線検査と喀痰検査の合計

※³乳がん検診は視触診、マンモグラフィー検査、乳腺超音波検査の合計

2－2．学校保健事業

■胸部検診

胸部検診を実施した結果、判定の内訳は表1に示すとおりであった。

胸部検診の要精検率は0.28％であった。

表1 胸部検診の実施成績

判 定	異常なし	有所見者数	要精密検査	合計
件 数	3,128	14	9	3,142
%	99.5	0.45	0.28	100.0

■血液検査

貧血検査を実施した結果、判定の内訳は表2に示すとおりであった。

貧血検査の要精検率は5.2％であり、前年度6.4％と比べて1.2ポイント減少した。

表2 貧血検査の実施成績

判 定	異常なし	特に支障なし	要生活注意	要精密検査	合計
件 数	186	13	20	12	231
%	80.5	5.6	8.7	5.2	100.0

■心電図検査

心電図検査の実施数は6,393件、前年度は6,066件で327件増加した。

学校保健事業における心電図検査は、検査のみの受託や判読までの受託があり、全体の件数の内、結果を電算登録しているデータから得た判定の内訳は表3に示すとおりであった。

要精検率は1.9％であり、前年度1.9％と同ポイントであった。

表3 心電図検査の実施成績

判 定	異常なし	要経過観察	要精密検査	要医療要治療	合計
件 数	6,082	190	121	0	6,393
%	95.1	3.0	1.9	0	100.0

2－3．地域保健事業

ア) 胃がん検診

胃がん検診の受診者数とその結果は表4に示すとおりであった。要精検率は8.2%で、前年度5.9%と比べて2.3ポイント増加した。

精検受診率は56.4%であった。

表4 胃がん検診の実施成績

		受 診 者 数	要 精 検 者 数	要 精 検 率 %	精 検 受 診 者 数	精 検 受 診 率 %	精 検 結 果													
							食 道 が ん	食 道 潰 瘍	食 道 そ の 他	胃 が ん	胃 潰 瘍	胃 ポ リ ー プ	粘 膜 下 潰 瘍	巨 大 皺 壁	萎 縮 性 胃 炎	び らん 性 胃 炎	胃 そ の 他	十 二 指 腸 潰 瘍	十 二 指 腸 他	異 常 な し
男 性	40～44 歳	33	2	6.1	1	50.0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	45～49 歳	31	1	3.2	1	100.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	50～54 歳	38	2	5.3	2	100.0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
	55～59 歳	26	4	15.4	4	100.0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	1
	60～64 歳	61	6	9.8	3	50.0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	65～69 歳	126	8	6.3	6	75.0	0	0	1	0	2	1	0	0	5	1	0	0	0	0
	70～74 歳	206	17	8.3	6	35.3	0	0	3	0	0	3	0	0	1	2	1	0	0	1
	75～79 歳	175	15	8.6	7	46.7	0	0	0	1	1	1	0	0	4	2	0	0	0	0
	80 歳～	157	21	13.4	9	42.9	0	0	1	0	1	2	0	0	3	2	0	0	1	2
計		853	76	8.9	39	51.3	0	0	7	1	5	8	0	0	18	9	1	0	1	5
女 性	40～44 歳	81	3	3.7	1	33.3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	45～49 歳	63	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	50～54 歳	119	2	1.7	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	55～59 歳	95	7	7.4	5	71.4	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	1
	60～64 歳	103	4	3.9	2	50.0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
	65～69 歳	182	12	6.6	8	66.7	0	0	2	0	0	2	1	0	3	3	1	0	0	1
	70～74 歳	232	28	12.1	18	64.3	0	0	4	0	1	6	1	0	9	4	1	0	0	0
	75～79 歳	179	19	10.6	10	52.6	0	0	5	0	1	2	0	0	5	3	2	0	0	0
	80 歳～	112	14	12.5	10	71.4	0	0	2	0	1	1	0	0	5	2	0	0	1	1
計		1,166	89	7.6	54	60.7	0	0	14	0	3	14	2	0	26	12	4	0	1	3
合計		2,019	165	8.2	93	56.4	0	0	21	1	8	22	2	0	44	21	5	0	2	8

イ) 子宮頸がん検診

子宮頸がん検診の受診者数とその結果は表5に示すとおりであった。要精検率は1.9%（NILM※を除いた場合は1.6%）で、前年度1.6%と比べて0.3ポイント増加した。

精検受診率は36.2%、子宮がんは0人であった。

※Negative for Intraepithelial Lesion or Malignancy: 推定病理診断「非腫瘍性病変 HPV 感染以外の炎症所見」の意。出典 「ベセスタシステムの基礎と実践－その理解のために」日本細胞診断学推進協会細胞検査士会

表5 子宮頸がん検診の実施成績

年 齢 階 級	受 診 者 数	要 精 検 者 数	要 精 検 率 %	要 精 検 率 % ※1	精 検 受 診 者 数	精 検 受 診 率 %	精 検 結 果			
							子 宮 が ん	異 形 成	そ の 他 疾 患	異 常 な し
～24 歳	22	2	9.1	9.1	1	50.0	0	1	0	0
25～29 歳	64	5	7.8	7.8	1	20.0	0	1	0	0
30～34 歳	114	4	3.5	3.5	1	25.0	0	1	0	0
35～39 歳	135	7	5.2	3.7	4	57.1	0	1	1	2
40～44 歳	210	12	5.7	4.3	6	50.0	0	1	1	4
45～49 歳	141	5	3.5	2.8	1	20.0	0	0	1	0
50～54 歳	166	7	4.2	3.6	2	28.6	0	0	1	1
55～59 歳	173	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
60～64 歳	227	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
65～69 歳	328	3	0.9	0.6	1	33.3	0	0	1	0
70～74 歳	372	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
75～79 歳	321	2	0.6	0.6	0	0.0	—	—	—	—
80 歳～	153	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
計	2,426	47	1.9	1.6	17	36.2	0	5	5	7

※1 NILM 除く

ウ) 肺がん検診(エックス線)

肺がん検診(エックス線)の受診者数とその結果は表6に示すとおりであった。要精検率は3.4%で、前年度3.5%と比べて0.1ポイント減少した。

精検受診率は44.1%であった。

表6 肺がん検診(エックス線)の実施成績

	年 齢 階 級	受 診 者 数	要 精 検 者 数	要 精 検 率 %	精 検 受 診 者 数	精 検 受 診 率 %	精 検 結 果					
							原 発 性 肺 が ん	肺 が ん 疑 い	そ の 他 が ん	肺 結 核	そ の 他 疾 患	異 常 な し
男 性	40～44 歳	89	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	45～49 歳	77	2	2.6	1	50.0	0	0	0	0	0	1
	50～54 歳	80	3	3.8	1	33.3	0	0	0	0	0	1
	55～59 歳	70	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	60～64 歳	178	2	1.1	2	100.0	0	1	0	0	1	0
	65～69 歳	436	17	3.9	10	58.8	0	2	0	0	6	2
	70～74 歳	810	31	3.8	11	35.5	1	2	1	0	2	5
	75～79 歳	814	41	5.0	14	34.1	0	2	0	0	10	2
	80 歳～	909	58	6.4	19	32.8	1	2	0	0	12	4
	計	3,463	154	4.4	58	37.7	2	9	1	0	31	15
女 性	40～44 歳	309	2	0.6	2	100.0	0	0	0	0	1	1
	45～49 歳	236	1	0.4	1	100.0	0	0	0	0	0	1
	50～54 歳	287	2	0.7	1	50.0	0	0	0	0	1	0
	55～59 歳	293	6	2.0	3	50.0	0	1	0	0	0	2
	60～64 歳	495	14	2.8	5	35.7	0	0	0	0	2	3
	65～69 歳	932	24	2.6	13	54.2	0	1	2	0	7	3
	70～74 歳	1,303	32	2.5	16	50.0	0	0	0	0	10	6
	75～79 歳	1,187	35	2.9	17	48.6	1	1	0	0	8	7
	80 歳～	1,030	54	5.2	27	50.0	0	3	1	0	19	4
	計	6,072	170	2.8	85	50.0	1	6	3	0	48	27
合 計		9,535	324	3.4	143	44.1	3	15	4	0	79	42

エ) 肺がん検診(喀痰)

肺がん検診(喀痰)の受診者数とその結果は表7に示すとおりであった。

要精検者数は1人であった。

表7 肺がん検診(喀痰)の実施成績

	年 齢 階 級	受 診 者 数	要 精 検 者 数	要 精 検 率 %	精 検 受 診 者 数	精 検 受 診 率 %	精 検 結 果					
							原 発 性 肺 が ん	肺 が ん 疑 い	そ の 他 が ん	肺 結 核	そ の 他 疾 患	異 常 な し
男 性	40～44 歳	2	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	45～49 歳	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	50～54 歳	6	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	55～59 歳	6	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	60～64 歳	13	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	65～69 歳	33	1	3.0	1	100.0	0	1	0	0	0	0
	70～74 歳	39	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	75～79 歳	63	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	80 歳～	45	0	0.0	—	—	0	1	0	0	0	0
	計	207	1	0.5	1	100.0	—	—	—	—	—	—
女 性	40～44 歳	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	45～49 歳	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	50～54 歳	1	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	55～59 歳	1	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	60～64 歳	4	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	65～69 歳	2	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	70～74 歳	1	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	75～79 歳	2	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	80 歳～	2	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	13	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計		220	1	0.5	1	100.0	0	1	0	0	0	0

オ) 乳がん検診

乳がん検診の受診者数とその結果は表 8 に示すとおりであった。要精検率は 8.9%で、前年度 11.3%と比べて 2.4 ポイント減少した。精検受診率は 61.8%であった。

表 8 乳がん検診(マンモグラフィー検査)の実施成績

年 齢 階 級	受 診 者 数	要 精 検 者 数	要 精 検 率 %	精 検 受 診 者 数	精 検 受 診 率 %	精 検 結 果				
						乳 が ん	乳 腺 症	線 維 腺 腫	そ の 他 疾 患	異 常 な し
40～44 歳	254	25	9.8	20	80.0	1	4	1	4	10
45～49 歳	200	22	11.0	15	68.2	2	3	1	5	5
50～54 歳	181	25	13.8	17	68.0	1	5	2	6	5
55～59 歳	169	15	8.9	8	53.3	0	2	1	1	5
60～64 歳	232	19	8.2	14	79.7	1	2	2	2	8
65～69 歳	341	27	7.9	17	63.0	1	3	3	6	7
70～74 歳	402	27	6.7	11	40.7	0	4	2	2	5
75～79 歳	344	28	8.1	15	53.6	1	3	2	1	8
80 歳～	172	16	9.3	9	56.3	0	1	0	4	4
計	2,295	204	8.9	126	61.8	7	27	14	31	57

カ) 前立腺がん検診

前立腺がん検診の受診者数とその結果は表 9 に示すとおりであった。要精検率は 6.5%で、前年度 7.4%と比べて 0.9 ポイント減少した。精検受診率は 12.5%、前立腺がん及び前立腺がん疑いはなかった。

表 9 前立腺がん検診の実施成績

年 齢 階 級	受 診 者 数	要 精 検 者 数	要 精 検 率 %	精 検 受 診 者 数	精 検 受 診 率 %	精 検 結 果					
						前 立 腺 が ん	前 立 腺 が ん 疑	前 立 腺 炎	前 立 腺 肥 大 症	そ の 他 疾 患	異 常 な し
40～44 歳	5	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
45～49 歳	3	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
50～54 歳	3	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
55～59 歳	7	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
60～64 歳	12	1	8.3	0	0.0	—	—	—	—	—	—
65～69 歳	25	2	8.0	0	0.0	—	—	—	—	—	—
70～74 歳	36	1	2.8	0	0.0	—	—	—	—	—	—
75～79 歳	16	3	18.8	1	33.3	0	0	0	1	0	0
80 歳～	17	1	5.9	0	0.0	—	—	—	—	—	—
計	124	8	6.5	1	12.5	0	0	0	1	0	0

キ) 大腸がん検診

大腸がん検診の受診者数とその結果は表 10 に示すとおりであった。要精検率は 5.3%で、前年度 4.7%と比べて 0.6 ポイント増加した。

精検受診率は 48.4%、がんの陽性反応的中率は 2.9%であった。

表 10 大腸がん検診の実施成績

	年 齢 階 級	受 診 者 数	要 精 検 者 数	要 精 検 率 %	精 検 受 診 者 数	精 検 受 診 率 %	精 検 結 果				
							大 腸 が ん	ポ リ ー プ	憩 室	そ の 他 疾 患	異 常 な し
男 性	40～44 歳	84	2	2.4	0	—	—	—	—	—	—
	45～49 歳	73	3	4.1	0	—	—	—	—	—	—
	50～54 歳	80	3	3.8	1	33.3	0	1	0	0	0
	55～59 歳	69	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
	60～64 歳	129	7	5.4	3	42.9	0	2	0	0	1
	65～69 歳	264	12	4.5	7	58.3	0	7	0	1	0
	70～74 歳	453	30	6.6	16	53.3	0	8	3	3	4
	75～79 歳	447	33	7.4	15	45.5	2	7	3	1	3
	80 歳～	535	50	9.3	21	42.0	1	14	3	3	3
	計	2,134	140	6.6	63	45.0	3	39	9	8	11
女 性	40～44 歳	241	12	5.0	4	33.3	0	1	2	0	1
	45～49 歳	205	6	2.9	3	50.0	0	0	0	0	3
	50～54 歳	244	6	2.5	3	50.0	0	2	0	2	0
	55～59 歳	259	9	3.5	4	44.4	0	2	0	1	1
	60～64 歳	321	9	2.8	5	55.6	0	2	1	1	2
	65～69 歳	530	21	4.0	8	38.1	0	2	0	1	5
	70～74 歳	697	29	4.2	18	62.1	1	10	3	3	3
	75～79 歳	673	37	5.5	19	51.4	5	9	2	0	5
	80 歳～	593	41	6.9	23	56.1	0	5	5	5	9
	計	3,763	170	4.5	87	51.2	6	33	13	13	29
合 計		5,897	310	5.3	150	48.4	9	72	22	21	40

ク) 特定健診

特定健診の受診者数とその結果は表 11-(1)～(2) に示すとおりであった。

メタボリックシンドローム判定の基準該当割合は 14.9%で、前年度 14.6%と比べて 0.3 ポイント増加した。

表 11-(1) 基準該当割合

基準該当者数(人)	332
受 診 者 数(人)	2,223
基準該当割合(%)	14.9

表 11-(2) 特定健診の実施成績

年 齢 階 級		受 診 者 数	メタボリックシンドローム				階 層 化				た ば こ		肥 満 度		血 圧		尿 検 査	
			基 準 該 当	予 備 軍 該 当	非 該 当	判 定 不 能	積 極 的 支 援	動 機 付 け 支 援	情 報 提 供	判 定 不 能	吸 う	吸 わ ない	実 施 数	有 所 見 者 数	実 施 数	有 所 見 者 数	実 施 数	有 所 見 者 数
男 性	40～44 歳	34	7	2	25	0	7	3	24	0	11	23	34	16	34	15	34	5
	45～49 歳	39	8	4	27	0	11	4	24	0	12	27	39	19	39	9	39	4
	50～54 歳	44	12	10	22	0	13	9	22	0	12	32	44	26	44	23	44	11
	55～59 歳	50	13	4	33	0	12	5	33	0	10	40	50	25	50	25	50	9
	60～64 歳	72	20	14	38	0	24	11	37	0	25	47	72	37	72	33	72	14
	65～69 歳	242	63	43	136	0	0	110	132	0	61	181	242	181	242	135	242	41
	70～74 歳	374	102	68	204	0	0	176	198	0	66	308	374	204	374	228	374	82
計		855	225	145	485	0	67	318	470	0	197	658	855	462	855	470	855	166
女 性	40～44 歳	54	0	2	52	0	1	6	47	0	4	50	54	18	54	6	54	1
	45～49 歳	39	0	2	37	0	1	3	35	0	2	37	39	19	39	4	39	1
	50～54 歳	66	1	5	60	0	3	3	60	0	6	60	66	24	66	11	66	2
	55～59 歳	71	2	4	65	0	4	6	61	0	6	65	71	22	71	25	71	2
	60～64 歳	191	10	14	167	0	11	13	167	0	6	185	191	63	191	64	191	10
	65～69 歳	397	36	33	328	0	0	93	304	0	10	387	397	149	397	184	397	28
	70～74 歳	550	58	30	462	0	0	112	438	0	17	533	550	201	550	299	550	50
計		1,368	107	90	1,171	0	20	236	1,112	0	51	1,317	1,368	496	1,368	593	1,368	94
合 計		2,223	332	235	1,656	0	87	554	1,582	0	248	1,975	2,223	958	2,223	1,063	2,223	260

		年	受	肝 機 能		脂 質		血 糖		貧 血		心 電 図		眼 底		腎 機 能	
		齡	診	実	有	実	有	実	有	実	有	実	有	実	有	実	有
		階	者	施	見	施	見	施	見	施	見	施	見	施	見	施	見
		級	数	数	者数	数	者数	数	者数	数	者数	数	者数	数	者数	数	者数
男 性	40～44 歳	34	34	13	34	20	34	5	34	0	33	2	5	1	34	0	
	45～49 歳	39	39	23	39	26	39	11	38	0	38	5	3	0	38	3	
	50～54 歳	44	44	24	44	36	44	15	44	3	44	13	3	2	44	2	
	55～59 歳	50	50	20	50	37	50	15	50	0	50	10	8	4	49	5	
	60～64 歳	72	72	37	72	49	72	32	72	4	70	9	8	4	72	13	
	65～69 歳	242	242	85	242	147	242	104	239	29	238	58	29	20	240	65	
	70～74 歳	374	374	127	374	217	374	178	372	44	366	118	50	26	374	107	
計		855	855	329	855	532	855	360	849	80	839	215	106	57	851	195	
女 性	40～44 歳	54	54	7	54	21	54	8	41	11	41	1	4	1	41	0	
	45～49 歳	39	39	1	39	17	39	5	24	7	23	1	2	1	24	1	
	50～54 歳	66	66	9	66	47	66	14	56	7	56	3	4	1	56	4	
	55～59 歳	71	71	16	71	46	71	15	60	3	60	7	3	2	60	5	
	60～64 歳	191	191	39	191	128	191	63	169	13	169	27	11	7	169	38	
	65～69 歳	397	397	69	397	280	397	165	379	38	378	57	25	9	380	75	
	70～74 歳	550	550	78	550	364	550	245	535	64	533	129	55	29	536	155	
計		1,368	1,368	219	1,368	903	1,368	515	1,264	143	1,260	225	104	50	1,266	278	
合 計		2,223	2,223	548	2,223	1,435	2,223	875	2,113	223	2,099	440	210	107	2,117	473	

ケ) 骨粗しょう症検診

骨粗しょう症検診（骨密度検査）の受診者数とその結果は表 12 に示すとおりであった。有所見率は 54.9%で、前年度 47.8%と比べて 7.1 ポイント増加した。

表 12 骨粗しょう症検診の実施成績

	年 齢 階 級	受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %
男 性	～39 歳	0	—	—
	40～44 歳	0	—	—
	45～49 歳	0	—	—
	50～54 歳	0	—	—
	55～59 歳	0	—	—
	60～64 歳	0	—	—
	65～69 歳	0	—	—
	70～74 歳	0	—	—
	75 歳～	0	—	—
	計	0	—	—
女 性	～39 歳	1	0	0.0
	40～44 歳	16	1	6.3
	45～49 歳	5	1	20.0
	50～54 歳	9	0	0.0
	55～59 歳	12	5	41.7
	60～64 歳	18	11	61.1
	65～69 歳	35	20	57.1
	70～74 歳	52	34	65.4
	75 歳～	45	34	75.6
	計	193	106	54.9
合 計		113	106	54.9

2-4. 職域保健事業

ア) 胃がん検診

胃がん検診の受診者数とその結果は表 13 に示すとおりであった。要精検率は 4.5% で、前年度 5.6% と比べて 1.1 ポイント減少した。

精検受診率は 38.9% であった。

表 13 胃がん検診の実施成績

年 齢 階 級	受 診 者 数	要 精 検 者 数	要 精 検 率 %	精 検 受 診 者 数	精 検 受 診 率 %	精 検 結 果																		
						食 道 が ん	食 道 潰 瘍	食 道 そ の 他	胃 が ん	胃 潰 瘍	胃 ポ リ ー プ	粘 膜 下 潰 瘍	巨 大 皺 壁	萎 縮 性 胃 炎	び らん 性 胃 炎	胃 そ の 他	十 二 指 腸 潰 瘍	十 二 指 腸 他	異 常 な し					
男	～39 歳	2,036	69	3.4	20	29.0	0	0	5	0	0	2	1	0	7	3	2	0	1	7				
性	40～44 歳	1,997	72	3.6	23	31.9	0	0	6	1	3	5	0	0	8	3	2	1	2	2				
	45～49 歳	2,296	94	4.1	32	34.0	0	0	6	0	1	10	1	0	7	6	2	0	0	8				
	50～54 歳	2,404	98	4.1	38	38.8	0	0	8	0	2	11	3	0	8	9	3	1	1	6				
	55～59 歳	2,002	105	5.2	27	25.7	0	0	3	0	0	9	2	0	10	5	2	0	5	4				
	60～64 歳	1,588	103	6.5	37	35.9	0	0	1	0	2	6	2	2	16	9	3	1	4	6				
	65～69 歳	713	59	8.3	20	33.9	0	1	3	1	1	4	0	0	9	3	1	1	0	2				
	70～74 歳	333	28	8.4	15	53.6	0	1	4	1	1	4	1	0	6	2	0	1	1	2				
	75～79 歳	39	3	7.7	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
	80 歳～	7	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
計	13,415	631	4.7	212	33.6	0	2	36	3	10	51	10	2	71	40	15	5	14	37					
女	～39 歳	542	16	3.0	8	50.0	0	0	1	0	0	4	0	0	3	0	1	0	0	0				
性	40～44 歳	685	24	3.5	16	66.7	0	0	1	0	0	4	0	0	5	3	2	1	1	5				
	45～49 歳	912	30	3.3	17	56.7	0	0	1	0	0	5	2	0	3	2	2	0	0	5				
	50～54 歳	886	33	3.7	15	45.5	0	0	3	0	0	1	0	0	6	3	1	0	0	6				
	55～59 歳	657	31	4.7	18	58.1	0	0	2	0	0	5	2	0	7	2	0	0	2	2				
	60～64 歳	581	25	4.3	15	60.0	0	0	2	0	1	7	1	0	5	1	3	0	0	3				
	65～69 歳	210	20	9.5	12	60.0	0	0	1	0	0	4	1	0	5	3	2	0	0	0				
	70～74 歳	94	6	6.4	4	66.7	0	0	1	0	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0				
	75～79 歳	10	1	10.0	1	100.0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0				
	80 歳～	2	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
計	4,579	186	4.1	106	57.0	0	0	12	0	1	32	7	0	36	14	11	1	3	21					
合 計						17,994	817	4.5	318	38.9	0	2	48	3	11	83	17	2	107	54	26	6	17	58

イ) 子宮頸がん検診

子宮頸がん検診の受診者数とその結果は表 14 に示すとおりであった。

要精検率は 4.0% (NILM※を除いた場合は 1.5%) で、前年度 3.8% と比べて 0.2 ポイント増加した。NILM は 25 人。

精検受診率は 38.6% (NILM を除いた場合は 37.5%)、子宮がんは 0 人であった。

※Negative for Intraepithelial Lesion or Malignancy: 推定病理診断「非腫瘍性病変 HPV 感染以外の炎症所見」の意。出典 「ベゼスタシステムの基礎と実践ーその理解のために」日本細胞診断学推進協会細胞検査士会

表 14 子宮頸がん検診の実施成績

年 齢 階 級	受 診 者 数	要 精 検 者 数	要 精 検 率 %	要 精 検 率 % ※1	精 検 受 診 者 数	精 検 受 診 率 %	精 検 結 果			
							子 宮 が ん	異 形 成	そ の 他 疾 患	異 常 な し
～24 歳	67	5	7.5	3.0	0	0.0	—	—	—	—
25～29 歳	158	9	5.7	1.3	2	22.2	0	0	2	0
30～34 歳	179	9	5.0	3.4	3	33.3	0	0	3	0
35～39 歳	251	13	5.2	2.0	7	53.8	0	0	5	2
40～44 歳	300	17	5.7	2.7	7	41.2	0	1	4	2
45～49 歳	364	11	3.0	0.5	4	36.4	0	0	3	1
50～54 歳	347	17	4.9	1.7	7	41.2	0	0	5	2
55～59 歳	226	7	3.1	0.9	4	57.1	0	1	2	1
60～64 歳	168	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
65～69 歳	98	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
70～74 歳	41	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
75～79 歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
80 歳～	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,199	88	4.0	1.5	34	38.6	0	2	24	8

※1 NILM 除く

ウ) 肺がん検診(エックス線)

肺がん検診(エックス線)の受診者数とその結果は表15に示すとおりであった。

要精検率は2.7%で、前年度3.5%と比べて0.8ポイント減少した。

精検受診率は12.1%であった。

表15 肺がん検診(エックス線)の実施成績

年 齢 階 級	受 診 者 数	要 精 検 者 数	要 精 検 率 %	精 検 受 診 者 数	精 検 受 診 率 %	精 検 結 果					
						原 発 性 肺 が ん	肺 が ん 疑 い	そ の 他 が ん	肺 結 核	そ の 他 疾 患	異 常 な し
男	～39 歳	330	4	1.2	0	0.0	—	—	—	—	—
性	40～44 歳	423	8	1.9	2	25.0	0	0	0	1	1
	45～49 歳	429	11	2.6	3	27.3	0	0	0	1	2
	50～54 歳	471	11	2.3	1	9.1	0	0	0	0	1
	55～59 歳	455	17	3.7	1	5.9	0	0	0	1	0
	60～64 歳	405	18	4.4	3	16.7	0	0	0	1	2
	65～69 歳	110	9	8.2	3	33.3	0	1	0	1	1
	70～74 歳	30	3	10.0	2	66.7	0	0	0	1	1
	75～79 歳	7	1	14.3	0	0.0	—	—	—	—	—
	80 歳～	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	2,660	82	3.1	15	18.3	0	1	0	6	8
女	～39 歳	93	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
性	40～44 歳	372	7	1.9	0	0.0	—	—	—	—	—
	45～49 歳	453	12	2.6	0	0.0	—	—	—	—	—
	50～54 歳	439	10	2.3	0	0.0	—	—	—	—	—
	55～59 歳	343	5	1.5	0	0.0	—	—	—	—	—
	60～64 歳	218	7	3.2	0	0.0	—	—	—	—	—
	65～69 歳	54	1	1.9	0	0.0	—	—	—	—	—
	70～74 歳	6	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
	75～79 歳	1	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
	80 歳～	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	1,979	42	2.1	0	0.0	—	—	—	—	—
合計		4,639	124	2.7	15	12.1	0	1	0	6	8

エ) 肺がん検診(喀痰)

肺がん検診(喀痰)の受診者数とその結果は表 16 に示すとおりであった。

要精検者数は 0 人で前年度 0 人と変化がなかった。

表 16 肺がん検診(喀痰)の実施成績

年 齢 階 級	受 診 者 数	要 精 検 者 数	要 精 検 率 %	精 検 受 診 者 数	精 検 受 診 率 %	精 検 結 果					
						原 発 性 肺 が ん	肺 が ん 疑 い	そ の 他 が ん	肺 結 核	そ の 他 疾 患	異 常 な し
男 性	～39 歳	238	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
	40～44 歳	128	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
	45～49 歳	139	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
	50～54 歳	206	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
	55～59 歳	135	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
	60～64 歳	82	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
	65～69 歳	41	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
	70～74 歳	28	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
	75～79 歳	7	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
	80 歳～	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計		1,004	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
女 性	～39 歳	33	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
	40～44 歳	36	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
	45～49 歳	47	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
	50～54 歳	54	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
	55～59 歳	11	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
	60～64 歳	5	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
	65～69 歳	3	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
	70～74 歳	1	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
	75～79 歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	80 歳～	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計		190	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
合計		1,194	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—

オ) 乳がん検診

乳がん検診の受診者数とその結果は表 17-(1)～(2) に示すとおりであった。
要精検率は 13.7%で、前年度 10.3%と比べて 3.4 ポイント増加した。

表 17-(1) 乳がん検診の実施成績

全体の受診者数(人)	2,730
全体の精検者数(人)	373
全体の要精検率(%)	13.7

表 17-(2) 乳がん検診の実施成績 (検査種類別)

■マンモグラフィー検査＋乳腺超音波検査											■マンモグラフィー検査のみ										
年 齢 階 級	受 診 者 数	要 精 検 者 数	要 精 検 率 %	精 検 受 診 者 数	精 検 受 診 率 %	精 検 結 果					受 診 者 数	要 精 検 者 数	要 精 検 率 %	精 検 受 診 者 数	精 検 受 診 率 %	精 検 結 果					
						乳 が ん	乳 腺 症	線 維 腺 腫	そ の 他 疾 患	異 常 な し						乳 が ん	乳 腺 症	線 維 腺 腫	そ の 他 疾 患	異 常 な し	
～29 歳	0	0	—	0	—	—	—	—	—	—	62	3	4.8	3	100.0	0	0	0	2	1	
30～34 歳	3	0	0.0	0	—	—	—	—	—	—	61	3	4.9	3	100.0	0	1	0	1	1	
35～39 歳	4	0	0.0	0	—	—	—	—	—	—	125	9	7.2	7	77.8	0	2	2	0	3	
40～44 歳	7	0	0.0	0	—	—	—	—	—	—	261	17	6.5	7	41.2	0	4	1	1	1	
45～49 歳	6	0	0.0	0	—	—	—	—	—	—	342	36	10.5	26	72.2	0	13	5	2	7	
50～54 歳	8	1	12.5	1	100.0	0	0	0	1	0	321	24	7.5	14	58.3	0	3	2	5	4	
55～59 歳	3	0	0.0	0	—	—	—	—	—	—	202	13	6.4	6	46.2	0	5	1	0	0	
60～64 歳	11	1	9.1	0	0.0	—	—	—	—	—	135	8	5.9	6	75.0	1	1	1	1	3	
65～69 歳	26	2	7.7	1	50.0	0	0	0	1	0	66	6	9.1	4	66.7	0	1	2	0	2	
70～74 歳	16	1	6.3	1	100.0	0	0	0	1	0	17	2	11.8	2	100.0	0	1	0	0	1	
75～79 歳	0	0	—	0	—	—	—	—	—	—	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
80 歳～	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
計	84	5	6.0	3	60.0	0	0	0	3	0	1,594	121	7.6	78	64.5	1	31	14	12	23	

■乳腺超音波検査のみ

年 齢 階 級	受 診 者 数	要 精 検 者 数	要 精 検 率 %	精 検 受 診 者 数	精 検 受 診 率 %	精 検 結 果				
						乳 が ん	乳 腺 症	線 維 腺 腫	そ の 他 疾 患	異 常 な し
～29 歳	209	8	3.8	2	25.0	0	1	0	1	0
30～34 歳	176	7	4.0	0	0.0	—	—	—	—	—
35～39 歳	171	6	3.5	3	50.0	0	1	0	1	1
40～44 歳	92	5	5.4	4	80.0	0	1	3	0	0
45～49 歳	102	4	3.9	3	75.0	0	2	0	1	0
50～54 歳	81	4	4.9	4	100.0	1	1	0	2	0
55～59 歳	74	4	5.4	1	25.0	0	1	0	0	0
60～64 歳	56	1	1.8	0	0.0	—	—	—	—	—
65～69 歳	52	2	3.8	2	100.0	1	0	0	0	1
70～74 歳	36	2	5.6	2	100.0	0	0	0	0	2
75～79 歳	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—
80 歳～	1	0	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,052	43	4.1	21	48.8	2	7	3	5	4

カ) 大腸がん検診

大腸がん検診の受診者数とその結果は表 18 に示すとおりであった。要精検率は 4.0% で、前年度と同率であった。

精検受診率は 31.9%、がんの陽性反応的中率は 1.22% であった。

表 18 大腸がん検診の実施成績

精 検 結 果											
大腸がん	ポリープ	憩室	その他疾患	異常なし							
年 齢 階 級	受 診 者 数	要 精 検 者 数	要 精 検 率 %	精 検 受 診 者 数	精 検 受 診 率 %						
男 性	～39 歳	3,630	111	3.1	32	28.8	0	10	3	9	14
	40～44 歳	3,672	125	3.4	25	20.0	0	9	6	3	10
	45～49 歳	4,191	134	3.2	33	24.6	0	17	3	9	8
	50～54 歳	4,038	156	3.9	47	30.1	2	31	10	10	7
	55～59 歳	3,143	172	5.5	51	29.7	1	31	16	7	7
	60～64 歳	2,637	145	5.5	43	29.7	3	33	7	13	2
	65～69 歳	1,618	94	5.8	32	34.0	3	20	9	5	5
	70～74 歳	1,008	80	7.9	40	50.0	1	24	11	6	6
	75～79 歳	145	11	7.6	2	18.2	0	2	0	0	0
	80 歳～	24	1	4.2	1	100.0	0	0	1	1	0
計	24,106	1,029	4.3	306	29.7	10	177	66	63	59	
女 性	～39 歳	1,379	51	3.7	16	31.4	0	5	0	2	10
	40～44 歳	1,351	48	3.6	12	25.0	0	4	1	2	5
	45～49 歳	1,725	53	3.1	20	37.7	0	10	1	2	7
	50～54 歳	1,969	49	2.5	14	28.6	1	8	1	1	5
	55～59 歳	1,637	57	3.5	24	42.1	2	14	2	3	5
	60～64 歳	1,402	59	4.2	23	39.0	1	10	4	5	6
	65～69 歳	840	30	3.6	18	60.0	2	12	2	2	4
	70～74 歳	427	22	5.2	12	54.5	1	6	0	2	3
	75～79 歳	46	0	0.0	0	—	—	—	—	—	—
	80 歳～	7	1	14.3	1	100.0	0	1	0	0	0
計	10,783	370	3.4	140	37.8	7	70	11	19	45	
合計	34,889	1,399	4.0	446	31.9	17	247	77	82	104	

キ) 特定健診

特定検診の受診者数とその結果は表 19-(1)～(2) に示すとおりであった。

メタボリックシンドローム判定の基準該当割合は 15.5%で、前年度 16.1%と比べて 0.6 ポイント減少した。

表 19-(1) 基準該当割合

基準該当者数(人)	3,462
受診者数(人)	22,348
基準該当割合(%)	15.5

表 19-(2) 特定健診の実施成績

年 齢 階 級		受 診 者 数	メタボリックシンドローム				階 層 化				た ば こ		肥 満		血 圧		尿 検 査	
			基 準 該 当	予 備 軍 該 当	非 該 当	判 定 不 能	積 極 的 支 援	動 機 付 け 支 援	情 報 提 供	判 定 不 能	吸 吸 わ な い	実 施 数	有 所 見 者 数	実 施 数	有 所 見 者 数	実 施 数	有 所 見 者 数	
男 性	40～44 歳	2,800	323	416	2,056	5	525	283	1,990	2	1,088	1,712	2,800	1,255	2,800	956	2,798	297
	45～49 歳	3,099	484	559	2,044	12	737	414	1,944	4	1,154	1,945	3,099	1,549	3,099	1,373	3,097	358
	50～54 歳	3,267	642	602	2,008	15	873	447	1,940	7	1,123	2,144	3,267	1,689	3,267	1,605	3,264	444
	55～59 歳	2,321	559	413	1,388	11	631	348	1,333	9	713	1,608	2,321	1,262	2,321	1,224	2,316	337
	60～64 歳	1,900	513	328	1,051	8	529	305	1,058	8	536	1,364	1,900	1,060	1,900	1,083	1,899	318
	65～69 歳	1,051	299	189	591	2	0	499	550	2	265	786	1,051	596	1,051	657	1,049	175
	70～74 歳	756	225	119	411	1	1	345	409	1	129	627	756	413	756	492	756	137
計		15,194	3,045	2,626	9,469	54	3,296	2,641	9,224	33	5,008	10,186	15,194	7,824	15,194	7,390	15,179	2,066
女 性	40～44 歳	1,163	22	35	1,094	12	30	76	1,045	12	55	1,108	1,163	380	1,163	179	1,162	69
	45～49 歳	1,402	34	64	1,300	4	44	105	1,247	6	102	1,300	1,401	407	1,401	296	1,398	82
	50～54 歳	1,568	72	94	1,402	0	85	155	1,328	0	155	1,453	1,568	533	1,568	495	1,566	94
	55～59 歳	1,153	84	82	987	0	80	138	934	1	61	1,092	1,153	436	1,153	442	1,151	59
	60～64 歳	940	89	62	789	0	79	104	755	2	33	907	940	353	940	392	940	57
	65～69 歳	624	68	44	512	0	0	140	484	0	23	601	624	240	624	340	624	38
	70～74 歳	304	48	22	234	0	0	81	223	0	12	292	304	122	304	181	304	31
計		7,154	417	403	6,318	16	318	799	6,016	21	401	6,753	7,153	2,471	7,153	2,325	7,145	430
合 計		22,348	3,462	3,029	15,787	70	3,614	3,440	15,240	54	5,409	16,939	22,347	10,295	22,347	9,715	22,324	2,496

	年 齡 階 級	受 診 者 数	肝 機 能		脂 質		血 糖		貧 血		心 電 図		眼 底		腎 臓	
			実 施 数	有 所 見 者 数	実 施 数	有 所 見 者 数	実 施 数	有 所 見 者 数	実 施 数	有 所 見 者 数	実 施 数	有 所 見 者 数	実 施 数	有 所 見 者 数	実 施 数	有 所 見 者 数
男 性	40～44 歳	2,800	2,799	1,195	2,799	1,785	2,771	430	2,720	44	2,798	181	781	181	1,912	60
	45～49 歳	3,099	3,092	1,369	3,092	2,113	3,060	675	3,006	67	3,099	324	769	235	2,066	120
	50～54 歳	3,267	3,258	1,476	3,258	2,191	3,231	999	3,182	83	3,266	471	739	304	1,841	206
	55～59 歳	2,321	2,316	972	2,316	1,558	2,292	815	2,275	93	2,320	391	591	286	1,358	239
	60～64 歳	1,900	1,890	777	1,890	1,231	1,869	799	1,845	114	1,892	391	322	180	996	208
	65～69 歳	1,051	1,045	414	1,045	674	1,044	507	1,027	87	1,049	274	136	84	653	150
	70～74 歳	756	754	283	754	459	754	381	746	70	751	237	179	109	461	119
	計	15,194	15,154	6,486	15,154	10,011	15,021	4,606	14,801	558	15,175	2,269	3,517	1,353	9,287	1,102
女 性	40～44 歳	1,163	1,162	118	1,162	444	1,156	74	1,105	259	1,096	56	266	29	619	10
	45～49 歳	1,402	1,399	177	1,399	696	1,394	140	1,334	312	1,335	95	286	64	735	38
	50～54 歳	1,568	1,576	293	1,567	1,003	1,560	235	1,500	196	1,499	147	260	75	779	67
	55～59 歳	1,153	1,148	234	1,148	824	1,142	260	1,101	62	1,107	137	141	43	513	67
	60～64 歳	940	937	205	937	672	933	233	870	56	878	119	103	50	430	76
	65～69 歳	624	623	136	623	416	623	224	574	54	573	103	112	49	296	82
	70～74 歳	304	304	56	304	204	304	127	278	29	277	70	61	39	194	55
	計	7,154	7,140	1,219	7,140	4,259	7,112	1,293	6,762	968	6,765	727	1,229	349	3,566	395
合計		22,348	22,294	7,705	22,294	14,270	22,133	5,899	21,563	1,526	21,940	2,996	4,746	1,702	12,853	1,497

ク) 腹部超音波検診

腹部超音波検診の受診者数とその結果は表 20 に示すとおりであった。要精検率は 3.2%で、前年度 2.3%と比べて 0.9 ポイント増加した。

精検受診率は 32.4%であった。

表 20 腹部超音波検診の実施成績

	年 齢 階 級	受 診 者 数	要 精 検 者 数	要 精 検 率 %	受精 診 者 数 検	受精 受 診 % 検	肝 臓						腎 臓			すい臓		胆 の う			脾 臓		そ の 他
							脂 肪 肝	石 灰 化	の う 胞	肝 硬 変	血 管 腫	そ の 他	結 核 石	の う 胞	そ の 他	の う 胞	そ の 他	胆 石	ポリ ー プ	そ の 他	の う 胞	そ の 他	
男 性	～39 歳	1,037	25	2.4	3	12.0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	1
	40～44 歳	787	13	1.7	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	45～49 歳	743	26	3.5	7	26.9	2	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1
	50～54 歳	707	27	3.8	8	29.6	1	0	1	1	1	0	2	1	0	0	0	1	1	2	0	0	0
	55～59 歳	543	20	3.7	2	10.0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	60～64 歳	337	18	5.3	4	22.2	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	1	0	0	0	1
	65～69 歳	184	18	9.8	7	38.9	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0
	70～74 歳	190	15	7.9	11	73.3	1	0	1	0	0	0	1	4	1	2	0	1	0	3	0	0	2
	75 歳～	13	1	7.7	1	100.0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		4,541	163	3.6	43	26.4	7	0	3	1	2	2	5	9	3	3	1	5	3	8	0	1	6
女 性	～39 歳	346	4	1.2	2	50.0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	40～44 歳	369	7	1.9	4	57.1	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	45～49 歳	410	7	1.7	3	42.9	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	50～54 歳	399	11	2.8	4	36.4	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1
	55～59 歳	273	5	1.8	3	60.0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0
	60～64 歳	180	7	3.9	3	42.9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0
	65～69 歳	145	8	5.5	6	75.0	3	0	1	0	1	0	2	3	0	0	0	2	0	0	0	0	0
	70～74 歳	80	7	8.8	3	42.9	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	1	0	0	1
	75 歳～	4	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計		2,206	56	2.5	28	50.0	5	0	5	0	5	1	3	6	0	1	1	6	3	5	0	0	2
合 計		6,747	219	3.2	71	32.4	12	0	8	1	37	3	8	15	3	4	2	11	6	13	0	1	8

ケ) 前立腺がん検診

前立腺がん検診(PSA 測定)の受診者数とその結果は表 21 に示すとおりであった。要精検率は 2.7%で、前年度の 2.8%と比べて 0.1 ポイント減少した。

精検受診率は 24.8%、陽性反応的中率は 3.4%であった。

表 21 前立腺がん検診(PSA 測定)の実施成績

年 齢 階 級	受 診 者 数	要 精 検 者 数	要 精 検 率 %	精 検 受 診 者 数	精 検 受 診 率 %	精 検 結 果					
						前 立 腺 が ん	前 立 腺 が ん 疑	前 立 腺 炎	前 立 腺 肥 大 症	そ の 他 疾 患	異 常 な し
～39 歳	720	2	0.3	1	50.0	0	0	0	0	1	0
40～44 歳	534	5	0.9	2	40.0	0	1	0	0	0	1
45～49 歳	802	5	0.6	1	20.0	0	0	0	0	0	1
50～54 歳	2,314	32	1.4	3	9.4	0	1	1	0	1	0
55～59 歳	1,670	47	2.8	10	21.3	0	1	1	7	0	2
60～64 歳	1,322	65	4.9	13	20.0	2	1	1	8	0	1
65～69 歳	731	33	4.5	11	33.3	2	1	1	8	0	1
70～74 歳	514	40	7.8	15	37.5	4	1	1	10	0	0
75～79 歳	63	4	6.3	1	25.0	0	0	0	0	0	1
80 歳～	11	1	9.1	1	100.0	0	0	0	1	0	0
計	8,681	234	2.7	58	24.8	8	6	5	34	2	7

コ) 骨粗しょう症検診

骨粗しょう症検診（骨密度検査）の受診者数とその結果は表 22 に示すとおりであった。
 有所見率は 17.5%で、前年度の 17.1%と比べて 0.4 ポイント増加した。

表 22 骨粗しょう症検診の実施成績

	年 齢 階 級	受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %
男 性	～39 歳	60	7	11.7
	40～44 歳	62	6	9.7
	45～49 歳	62	8	12.9
	50～54 歳	73	22	30.1
	55～59 歳	13	3	23.1
	60～64 歳	6	3	50.0
	65～69 歳	4	2	50.0
	70～74 歳	0	—	—
	75 歳～	2	1	50.0
	計	282	52	18.4
女 性	～39 歳	46	5	10.9
	40～44 歳	50	8	16.0
	45～49 歳	75	5	6.7
	50～54 歳	74	9	12.2
	55～59 歳	22	11	50.0
	60～64 歳	14	4	28.6
	65～69 歳	12	6	50.0
	70～74 歳	1	1	100.0
	75 歳～	0	—	—
	計	294	49	16.7
合 計		576	101	17.5

サ) 特殊健康診断

特殊健康診断の受診者数は表 23、表 24 に示すとおりであった。

表 23 法令に基づく特殊健康診断の実施状況

種 別	人 数
じん肺健康診断	2,050
石綿健康診断	1,143
有機溶剤健康診断	9,544
鉛健康診断	403
電離放射線健康診断	1,019
特定化学物質健康診断	22,277
高気圧業務健康診断	22
酸等の有害物質取扱い従事者の歯科健康診断	720

表 24 行政指導による特殊健康診断の実施状況

種 別	人 数
情報機器作業健康診断	14,691
騒音作業健康診断	5,189
腰痛作業健康診断	417
振動業務健康診断（チェンソー・手持振動工具等）	166
有害光線健康診断（紫外線・赤外線・レーザー光線等）	1,694

シ) アレルギー検査

2023 年度からオブション検査としてアレルギー検査を実施した。受診者数は表 25 に示すとおりであった。

表 25 アレルギー検査

種 別	人 数
A：家庭内（カビ、ダニ、ネコ等）	64
B：花 粉（スギ、ヒノキ等）	108
C：食 物（牛乳、カニ、ソバ等）	37
D：上記＋動物、昆虫、職業性項目内の 39 項目	428
計	637

ス) 労災二次健診

労災二次健診の受診者数は 257 人で、前年度 358 人に比べる 101 人の減少となった。今年度の結果については表 26 に示すとおりであった。

表 26 労災二次健診の実施成績

	年 齢 階 級	受 診 者 数	有 所 見 者 数						尿中アルブミン	
			脂 質	ヘ ド リ ン	「 D 」 「 L 」	血 糖	頸 部 エ コ ー	心 エ コ ー	受 診 者 数	有 所 見 者 数
男 性	～39 歳	16	3	5	8	8	0	1	2	2
	40～44 歳	26	3	0	16	8	1	1	4	1
	45～49 歳	33	4	2	12	15	4	5	2	2
	50～54 歳	60	7	9	20	20	9	8	9	4
	55～59 歳	57	7	2	22	28	18	9	3	3
	60～64 歳	50	2	5	18	20	10	3	6	5
	65 歳～	6	0	0	1	2	2	2	1	1
	計	248	26	23	97	101	44	29	27	18
女 性	～39 歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—
	40～44 歳	1	0	0	1	0	0	0	0	0
	45～49 歳	2	0	0	1	0	0	0	0	0
	50～54 歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	55～59 歳	5	1	0	2	2	0	1	1	0
	60～64 歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—
	65 歳～	0	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	9	1	0	4	2	0	1	1	0
合 計		257	27	23	101	103	44	30	28	18

セ) 血液検査

血液検査の受診者数とその結果は表 27 に示すとおりであった。

表 27 血液検査の実施成績

年 齡 階 級		肝 機 能			脂 質			貧 血			血 糖			血 球 数		
		受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %
男 性	～29 歳	10,725	2,485	23.2	10,949	2,788	25.5	10,738	449	4.2	10,670	466	4.4	6,283	352	5.6
	30～34 歳	5,843	1,673	28.6	6,010	2,041	34.0	5,836	226	3.9	5,810	328	5.6	3,217	210	6.5
	35～39 歳	5,940	1,844	31.0	6,156	2,328	37.8	5,953	252	4.2	5,980	417	7.0	3,988	299	7.5
	40～44 歳	6,144	1,897	30.9	6,288	2,692	42.8	6,140	329	5.4	6,204	587	9.5	4,074	335	8.2
	45～49 歳	7,355	2,326	31.6	7,467	3,478	46.6	7,249	432	6.0	7,394	1,071	14.5	4,634	391	8.4
	50～54 歳	7,482	2,393	32.0	7,597	3,481	45.8	7,405	567	7.7	7,551	1,495	19.8	4,591	375	8.2
	55～59 歳	5,594	1,734	31.0	5,651	2,576	45.6	5,499	583	10.6	5,632	1,461	25.9	3,290	252	7.7
	60～64 歳	4,782	1,370	28.6	4,834	2,087	43.2	4,764	595	12.5	4,819	1,452	30.1	2,616	195	7.5
	65～69 歳	3,070	715	23.3	3,114	1,274	40.9	3,139	450	14.3	3,115	1,063	34.1	1,787	121	6.8
	70 歳～	2,424	516	21.3	2,423	858	35.4	2,442	520	21.3	2,440	902	37.0	1,368	64	4.7
計		59,359	16,953	28.6	60,489	23,603	39.0	59,165	4,403	7.4	59,615	9,242	15.5	35,848	2,594	7.2
女 性	～29 歳	5,845	274	4.7	5,883	1,081	18.4	6,078	845	13.9	5,745	172	3.0	2,475	317	12.8
	30～34 歳	2,423	154	6.4	2,432	559	23.0	2,369	468	19.8	2,382	84	3.5	822	79	9.6
	35～39 歳	2,390	158	6.6	2,385	588	24.7	2,357	538	22.8	2,362	103	4.4	1,154	87	7.5
	40～44 歳	2,792	220	7.9	2,784	777	27.9	2,757	728	26.4	2,771	149	5.4	1,424	145	10.2
	45～49 歳	3,558	352	9.9	3,542	1,242	35.1	3,518	898	25.5	3,536	262	7.4	1,764	123	7.0
	50～54 歳	3,916	558	14.2	3,911	1,874	47.9	3,869	656	17.0	3,903	436	11.2	1,828	124	6.8
	55～59 歳	3,130	455	14.5	3,135	1,663	53.0	3,115	277	8.9	3,130	440	14.1	1,391	65	4.7
	60～64 歳	2,720	356	13.1	2,710	1,442	53.2	2,707	222	8.2	2,711	432	15.9	1,190	49	4.1
	65～69 歳	1,704	233	13.7	1,698	784	46.2	1,708	205	12.0	1,704	336	19.7	876	38	4.3
	70 歳～	1,413	302	21.4	1,412	559	39.6	1,432	349	24.4	1,431	413	28.9	779	85	10.9
計		29,891	3,062	10.2	29,892	10,569	35.4	29,910	5,186	17.3	29,675	2,827	9.5	13,703	1,112	8.1
合 計		89,250	20,015	22.4	90,381	34,172	37.8	89,075	9,589	10.8	89,290	12,069	13.5	49,551	3,706	7.5

年 齢 階 級		腎 機 能			脾 機 能			尿 酸			ペプシノゲン検査			NT-proBNP		
		受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %
男 性	～29 歳	5,901	282	4.8	2,983	423	14.2	6,141	518	8.4	276	3	1.1	90	1	1.1
	30～34 歳	3,352	182	5.4	1,745	242	13.9	3,488	366	10.5	86	0	0.0	97	1	1.0
	35～39 歳	4,147	240	5.8	1,570	232	14.8	4,384	444	10.1	96	0	0.0	169	8	4.7
	40～44 歳	4,485	322	7.2	1,375	207	15.1	4,537	445	9.8	106	1	0.9	290	13	4.5
	45～49 歳	5,238	449	8.6	1,521	198	13.0	5,328	498	9.3	128	3	2.3	467	26	5.6
	50～54 歳	5,282	665	12.6	1,706	229	13.4	5,406	478	8.8	120	2	1.7	520	61	11.7
	55～59 歳	4,070	715	17.6	1,569	232	14.8	4,101	356	8.7	81	1	1.2	427	66	15.5
	60～64 歳	3,409	731	21.4	1,323	179	13.5	3,414	286	8.4	56	2	3.6	363	101	27.8
	65～69 歳	2,185	515	23.6	588	64	10.9	2,181	143	6.6	35	2	5.7	336	115	34.2
	70 歳～	1,500	438	29.2	274	33	12.0	1,526	77	5.0	30	1	3.3	266	138	51.9
	計	39,569	4,539	11.5	14,654	2,039	13.9	40,506	3,611	8.9	1,014	15	1.5	3,025	530	17.5
女 性	～29 歳	3,152	209	6.6	1,378	127	9.2	2,815	18	0.6	53	2	3.8	57	15	26.3
	30～34 歳	1,446	70	4.8	638	66	10.3	1,314	10	0.8	22	0	0.0	69	22	31.9
	35～39 歳	1,650	96	5.8	627	51	8.1	1,533	20	1.3	21	0	0.0	114	27	23.7
	40～44 歳	1,968	145	7.4	842	90	10.7	1,807	15	0.8	48	0	0.0	194	55	28.4
	45～49 歳	2,522	244	9.7	1,082	114	10.5	2,338	20	0.9	49	0	0.0	253	80	31.6
	50～54 歳	2,722	339	12.5	1,147	110	9.6	2,519	29	1.2	39	1	2.6	278	84	30.2
	55～59 歳	2,144	336	15.7	828	101	12.2	1,979	29	1.5	35	2	5.7	263	85	32.3
	60～64 歳	1,871	363	19.4	639	79	12.4	1,708	26	1.5	22	0	0.0	228	101	44.3
	65～69 歳	1,102	226	20.5	238	29	12.2	978	12	1.2	12	0	0.0	194	103	53.1
	70 歳～	774	252	32.6	66	4	6.1	723	16	2.2	8	0	0.0	127	80	63.0
	計	19,351	2,280	11.8	7,485	771	10.3	17,714	195	1.1	309	5	1.6	1,777	652	36.7
合 計		58,920	6,819	11.6	22,139	2,810	12.7	58,220	3,806	6.5	1,323	20	1.5	4,802	1,182	24.6

年 齡 階 級	年 齡 階 級	C 型 肝 炎			ピロリ菌抗体			C A 19-9			C A 125			C E A		
		受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %
男 性	～29 歳	277	1	0.4	300	44	14.7	182	1	0.5	—	—	—	139	1	0.7
	30～34 歳	137	0	0.0	80	12	15.0	145	0	0.0	—	—	—	140	1	0.7
	35～39 歳	234	0	0.0	205	43	21.0	238	4	1.7	—	—	—	235	5	2.1
	40～44 歳	235	2	0.9	108	27	25.0	385	6	1.6	—	—	—	387	17	4.4
	45～49 歳	234	0	0.0	133	37	27.8	572	7	1.2	—	—	—	591	28	4.7
	50～54 歳	218	1	0.5	144	41	28.5	648	16	2.5	—	—	—	674	35	5.2
	55～59 歳	126	0	0.0	90	26	28.9	487	8	1.6	—	—	—	509	21	4.1
	60～64 歳	68	1	1.5	65	20	30.8	430	7	1.6	—	—	—	440	32	7.3
	65～69 歳	43	0	0.0	39	10	25.6	394	20	5.1	—	—	—	407	25	6.1
	70 歳～	33	1	3.0	42	14	33.3	282	15	5.3	—	—	—	290	21	7.2
	計	1,605	6	0.4	1,206	274	22.7	3,763	84	2.2	—	—	—	3,812	186	4.9
女 性	～29 歳	345	0	0.0	62	8	12.9	71	2	2.8	97	4	4.1	63	0	0.0
	30～34 歳	54	0	0.0	28	3	10.7	82	1	1.2	96	2	2.1	78	1	1.3
	35～39 歳	73	0	0.0	41	9	22.0	124	5	4.0	146	7	4.8	125	0	0.0
	40～44 歳	96	0	0.0	48	7	14.6	196	7	3.6	214	6	2.8	204	1	0.5
	45～49 歳	121	0	0.0	52	11	21.2	249	9	3.6	289	7	2.4	263	6	2.3
	50～54 歳	117	1	0.9	54	15	27.8	290	8	2.8	316	4	1.3	313	11	3.5
	55～59 歳	52	0	0.0	37	8	21.6	274	10	3.6	307	0	0.0	290	9	3.1
	60～64 歳	36	0	0.0	28	6	21.4	237	14	5.9	261	0	0.0	251	4	1.6
	65～69 歳	23	0	0.0	21	9	42.9	192	10	5.2	208	0	0.0	195	4	2.1
	70 歳～	22	0	0.0	16	10	62.5	129	13	10.1	131	1	0.8	122	6	4.9
	計	939	1	0.1	387	86	22.2	1,844	79	4.3	2,065	31	1.5	1,904	42	2.2
合 計		2,544	7	0.3	1,593	360	22.6	5,607	163	2.9	2,065	31	1.5	5,716	228	4.0

	年 齢 階 級	T P A			甲 状 腺		
		受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %
男 性	～29 歳	19	0	0.0	11	1	9.1
	30～34 歳	11	0	0.0	12	0	0.0
	35～39 歳	42	1	2.4	9	0	0.0
	40～44 歳	76	1	1.3	19	0	0.0
	45～49 歳	113	3	2.7	25	2	8.0
	50～54 歳	150	3	2.0	18	0	0.0
	55～59 歳	90	2	2.2	27	2	7.4
	60～64 歳	90	5	5.6	9	2	22.2
	65～69 歳	60	2	3.3	9	2	22.2
	70 歳～	24	0	0.0	9	2	22.2
女 性	計	675	17	2.5	148	11	7.4
	～29 歳	2	0	0.0	23	3	13.0
	30～34 歳	6	0	0.0	14	0	0.0
	35～39 歳	8	0	0.0	17	1	5.9
	40～44 歳	25	0	0.0	29	2	6.9
	45～49 歳	26	0	0.0	40	0	0.0
	50～54 歳	45	0	0.0	27	1	3.7
	55～59 歳	24	0	0.0	31	1	3.2
	60～64 歳	23	0	0.0	30	1	3.3
	65～69 歳	14	0	0.0	7	2	28.6
合 計	70 歳～	13	1	7.7	7	1	14.3
	計	186	1	0.5	225	12	5.3
合 計		861	18	2.1	373	23	6.2

ソ) その他検査

その他検査の受診者数とその結果は表 29 に示すとおりであった。

また、前年度との有所見率の比較は表 28 に示すとおりであった。

表 28 その他検査の有所見率の前年度との比較

	有 所 見 率 (%)		変化度
	2023 年度	2022 年度	
心 電 図	11.3	12.3	↓ 1.0
身 体 計 測	42.7	42.4	↑ 0.3
血 圧	18.4	19.1	↓ 0.7
尿 一 般 ^{※1}	4.9	4.0	↑ 0.9
尿 糖 検 査	3.4	3.2	↑ 0.2
聴 力 検 査 ^{※2}	7.9	8.1	↓ 0.2
診 察	3.9	3.7	↑ 0.2
胸 部 検 査 ^{※3}	4.9	5.6	↓ 0.7
眼 底 検 査	31.5	33.9	↓ 2.4

※1 尿一般は、蛋白、潜血、ウロビリノゲン、ケトン体、ビリルビンの結果から判定しています。

※2 聴力検査は、オーディオメーターによる検査または会話法による検査の結果から判定しています。

※3 胸部検査は、肺がん検査(エックス線撮影)は含みません。

表 29 その他検査の実施成績

年 齡 階 級		心 電 図			計 測			血 圧			尿 一 般			尿 糖		
		受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %
男 性	～29 歳	7,700	337	4.4	14,946	4,868	32.6	14,789	784	5.3	14,956	455	3.0	14,956	92	0.6
	30～34 歳	4,230	212	5.0	7,280	3,025	41.6	7,327	677	9.2	7,310	193	2.6	7,310	74	1.0
	35～39 歳	5,521	308	5.6	7,316	3,319	45.4	7,342	1,050	14.3	7,313	209	2.9	7,313	116	1.6
	40～44 歳	5,932	379	6.4	7,215	3,365	46.6	7,234	1,372	19.0	7,205	257	3.6	7,205	190	2.6
	45～49 歳	7,105	729	10.3	8,310	4,232	50.9	8,347	2,125	25.5	8,304	347	4.2	8,304	353	4.3
	50～54 歳	7,215	906	12.6	8,307	4,453	53.6	8,339	2,546	30.5	8,306	435	5.2	8,306	542	6.5
	55～59 歳	5,435	890	16.4	6,020	3,337	55.4	6,036	2,073	34.3	6,010	314	5.2	6,010	485	8.1
	60～64 歳	4,648	986	21.2	5,075	2,797	55.1	5,089	1,819	35.7	5,069	334	6.6	5,069	446	8.8
	65～69 歳	3,060	793	25.9	3,240	1,796	55.4	3,241	1,233	38.0	3,232	219	6.8	3,232	334	10.3
	70 歳～	2,275	806	35.4	2,364	1,308	55.3	2,386	967	40.5	2,409	183	7.6	2,409	291	12.1
計		53,121	6,346	11.9	70,073	32,500	46.4	70,130	14,646	20.9	70,114	2,946	4.2	70,114	2,923	4.2
女 性	～29 歳	4,125	151	3.7	7,558	2,281	30.2	7,528	90	1.2	7,470	466	6.2	7,470	44	0.6
	30～34 歳	1,650	56	3.4	2,739	948	34.6	2,757	89	3.2	2,749	162	5.9	2,749	18	0.7
	35～39 歳	2,203	86	3.9	2,534	874	34.5	2,539	150	5.9	2,526	207	8.2	2,526	22	0.9
	40～44 歳	2,741	148	5.4	2,888	1,019	35.3	2,903	237	8.2	2,894	218	7.5	2,894	22	0.8
	45～49 歳	3,499	304	8.7	3,665	1,186	32.4	3,677	521	14.2	3,662	261	7.1	3,662	47	1.3
	50～54 歳	3,870	396	10.2	4,054	1,497	36.9	4,076	774	19.0	4,060	196	4.8	4,060	101	2.5
	55～59 歳	3,113	426	13.7	3,250	1,267	39.0	3,261	662	20.3	3,252	147	4.5	3,252	74	2.3
	60～64 歳	2,707	412	15.2	2,840	1,099	38.7	2,848	687	24.1	2,845	188	6.6	2,845	86	3.0
	65～69 歳	1,697	336	19.8	1,774	692	39.0	1,780	536	30.1	1,780	102	5.7	1,780	68	3.8
	70 歳～	1,280	370	28.9	1,275	479	37.6	1,293	484	37.4	1,457	126	8.6	1,457	59	4.0
計		26,885	2,685	10.0	32,577	11,342	34.8	32,662	4,230	13.0	32,695	2,073	6.3	32,695	541	1.7
合 計		80,006	9,031	11.3	102,650	43,842	42.7	102,792	18,876	18.4	102,809	5,019	4.9	102,809	3,464	3.4

年 齡 階 級		聽 力			診 察			胸 部 檢 查			眼 底 檢 查		
		受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %
男 性	～29 歲	14, 530	101	0. 7	12, 177	221	1. 8	17, 419	194	1. 1	279	9	3. 2
	30～34 歲	7, 065	73	1. 0	5, 863	129	2. 2	5, 857	105	1. 8	141	15	10. 6
	35～39 歲	7, 069	118	1. 7	5, 918	148	2. 5	5, 794	140	2. 4	1, 013	141	13. 9
	40～44 歲	7, 006	302	4. 3	5, 961	173	2. 9	6, 036	210	3. 5	1, 135	249	21. 9
	45～49 歲	8, 141	605	7. 4	7, 086	226	3. 2	7, 038	356	5. 1	1, 219	394	32. 3
	50～54 歲	8, 178	910	11. 1	7, 024	279	4. 0	7, 081	456	6. 4	1, 105	478	43. 3
	55～59 歲	5, 895	997	16. 9	4, 790	228	4. 8	5, 423	461	8. 5	826	406	49. 2
	60～64 歲	4, 981	1, 163	23. 3	4, 174	252	6. 0	4, 922	514	10. 4	511	291	56. 9
	65～69 歲	3, 106	1, 088	35. 0	2, 809	212	7. 5	3, 128	416	13. 3	204	126	61. 8
	70 歲～	2, 107	1, 197	56. 8	2, 208	249	11. 3	2, 332	471	20. 2	212	128	60. 4
計		68, 078	6, 554	9. 6	58, 010	2, 117	3. 6	65, 030	3, 323	5. 1	6, 645	2, 237	33. 7
女 性	～29 歲	7, 451	60	0. 8	6, 676	177	2. 7	12, 436	184	1. 5	90	3	3. 3
	30～34 歲	2, 678	28	1. 0	2, 393	93	3. 9	2, 638	42	1. 5	43	6	14. 0
	35～39 歲	2, 435	33	1. 4	2, 217	84	3. 8	2, 522	42	1. 7	246	20	8. 1
	40～44 歲	2, 751	52	1. 9	2, 504	124	5. 0	2, 927	94	3. 2	401	50	12. 5
	45～49 歲	3, 488	84	2. 4	3, 095	135	4. 4	3, 675	155	4. 2	453	95	21. 0
	50～54 歲	3, 875	100	2. 6	3, 421	175	5. 1	3, 964	234	5. 9	413	127	30. 8
	55～59 歲	3, 145	185	5. 9	2, 851	137	4. 8	3, 254	264	8. 1	227	79	34. 8
	60～64 歲	2, 695	231	8. 6	2, 483	152	6. 1	2, 791	255	9. 1	170	86	50. 6
	65～69 歲	1, 599	210	13. 1	1, 644	121	7. 4	1, 707	223	13. 1	128	56	43. 8
	70 歲～	1, 091	318	29. 1	1, 261	95	7. 5	1, 211	190	15. 7	69	44	63. 8
計		31, 208	1, 301	4. 2	28, 545	1, 293	4. 5	37, 125	1, 683	4. 5	2, 240	566	25. 3
合 計		99, 286	7, 855	7. 9	86, 555	3, 410	3. 9	102, 155	5, 006	4. 9	8, 885	2, 803	31. 5

2－5．新生児先天性代謝異常検査

1) 受付検体の内訳

表 30 に示すとおり、県内医療機関 34 施設から提出された受付検体数は 7,661 人(男児 3,879 人、女児 3,782 人)であった。図 3 に示すとおり、検査件数は年々減少傾向にあり、前年度 8,426 人から更に減少し 8,000 人を下回った。

採血時の哺乳状況は、良 7,484 人(97.69%)、不良 104 人(1.36%)、殆ど哺乳不能 32 人(0.42%)、注入 1 人(0.01%)、絶食 2 人(0.03%)、未記入 38 人(0.50%)であった。

2) 出生時体重別検体数

表 31 に示すとおり、2,000 g 未満の低出生体重児は 119 人(1.55%)であった。

また、図 4 に出生時体重別検体数を表した。

表 30 受付検体の内訳

			検体数	%
全	体		7,661	—
性 別	男児		3,879	50.63
	女児		3,782	49.37
	不明		0	0.00
哺乳状態	良		7,484	97.69
	不良		104	1.36
	殆ど哺乳不能		32	0.42
	注入		1	0.01
	絶食		2	0.03
	未記入		38	0.50

表 31 出生時体重別検体

出生時体重(g)	検体数	%
499 以下	3	0.04
500～999	10	0.13
1,000～1,499	23	0.30
1,500～1,999	83	1.08
2,000～2,499	586	7.65
2,500～2,999	2,865	37.40
3,000～3,499	3,226	42.11
3,500～3,999	803	10.48
4,000～4,499	60	0.78
4,500 以上	2	0.03
2,000 g 以上	7,542	98.45
2,000 g 未満	119	1.55

図 3 受付検体数の推移

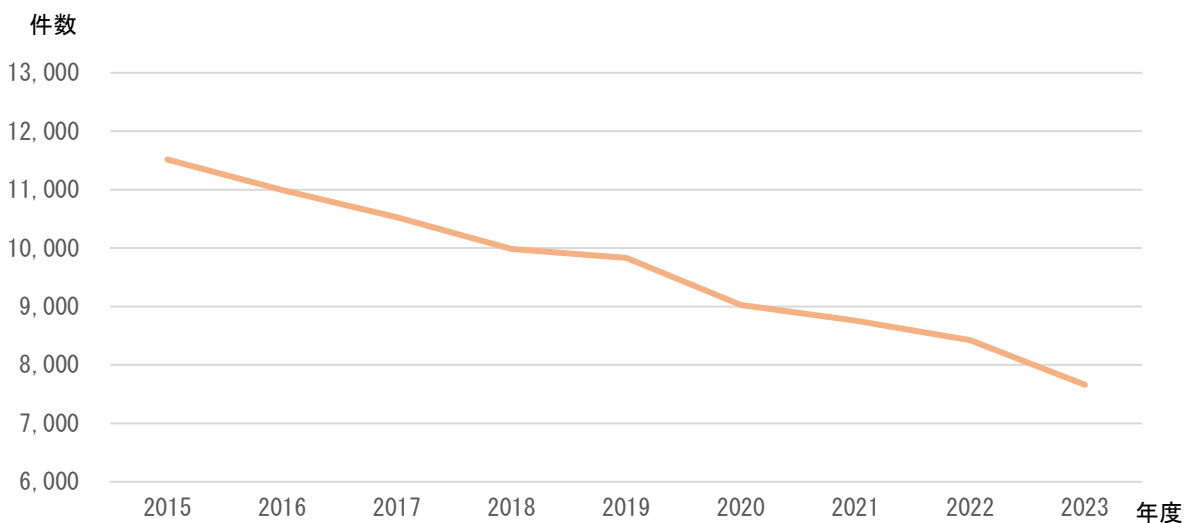
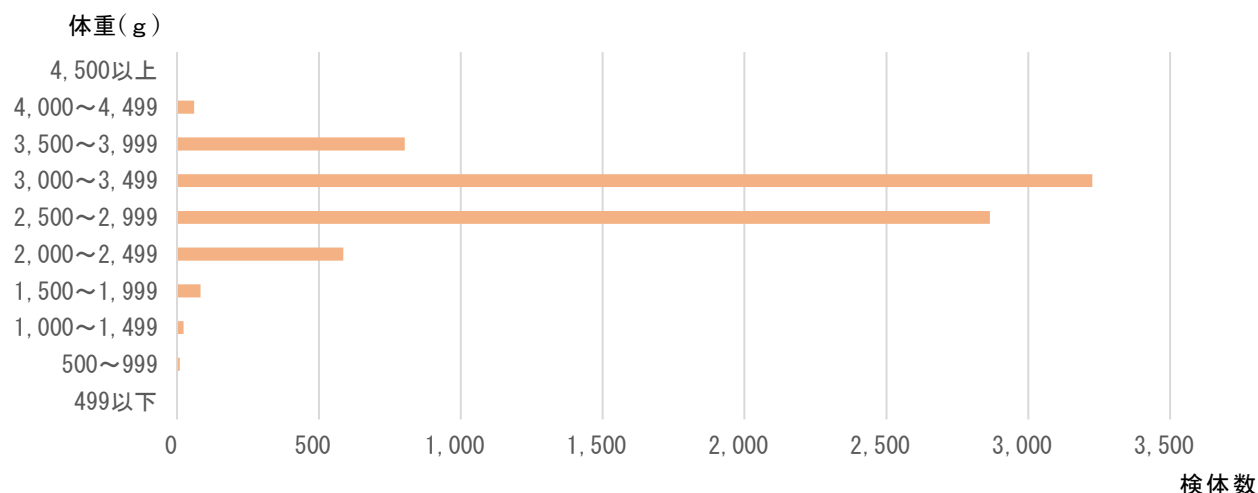


図 4 出生時体重別検体数



3) 初回採血検体の検査結果について

表 32 に示すとおり、対象疾患別再採血率は 0.00~1.57% で、例年どおりであり大きな変化はなかった。

表 32 対象疾患別の再採血依頼数

(全 7,661 件中)

対 象 疾 患 名	再 採 血 依 頼 件 数				直 接 精 査 依 頼 件 数	
	2,000g 以 上	2,000g 未 満 哺 乳 不 能	計	再 採 血 率 (%)	2,000g 以 上	2,000g 未 満
フェニルケトン尿症	1	1	2	0.03	0	1
メープルシロップ尿症	2	0	2	0.03	0	0
ホモシスチン尿症	1	0	1	0.01	0	1
ガラクトース血症	39	0	39	0.51	1	0
21-水酸化酵素欠損症	14	29	43	0.56	3	0
先天性甲状腺機能低下	111	9	120	1.57	3	0
甲状腺機能亢進症	0	0	0	0.00	0	0
その他の代謝異常症	30	3	33	0.43	1	0
合 計	※ ¹ 198	※ ² 42	240	3.13	8	※ ³ 2

※1 複数項目 3 人 …………… 合計 195 人 198 件

※2 複数項目 6 人(うち 3 項目 1 人) …… 合計 35 人 42 件

※3 複数項目 1 人 …………… 合計 1 人 2 件

4) 2,000 g 未満の低出生体重児または殆ど哺乳不能、絶食の児について

新生児マススクリーニングにおける低出生体重児の採血時期に関する指針では、出生体重が 2,000 g 未満の低出生体重児は、原則的には日齢 4~6 日(出生当日が日齢 0)で第 1 回目の採血を実施し、さらに①生後 1 か月、②体重が 2,500 g に達した時期、③医療機関を退院する時期のいずれか早い時期に、第 2 回目の採血を実施することが望ましいとされている。また、哺乳不能の場合も一部の疾患では、検査結果が病態を表さない可能性があるため、いずれの場合も 2 回目採血を依頼している。

図 5 に示すとおり、初回採血「正常」で再採血を依頼し 2 回目の検査を行った結果、精密検査となったものが 2 件、院内検査 follow となったものが 3 件あった。

「異常の疑い」となり、再採血依頼をした結果、精密検査 2 名、院内検査 follow 1 名、死亡 2 名を除き、すべて正常となった。

再採血、再々採血依頼の最終検査結果は表 33 に示すとおりである。

図 5 2,000 g 未満の低出生体重児または殆ど哺乳不能、絶食児の再採血検査結果

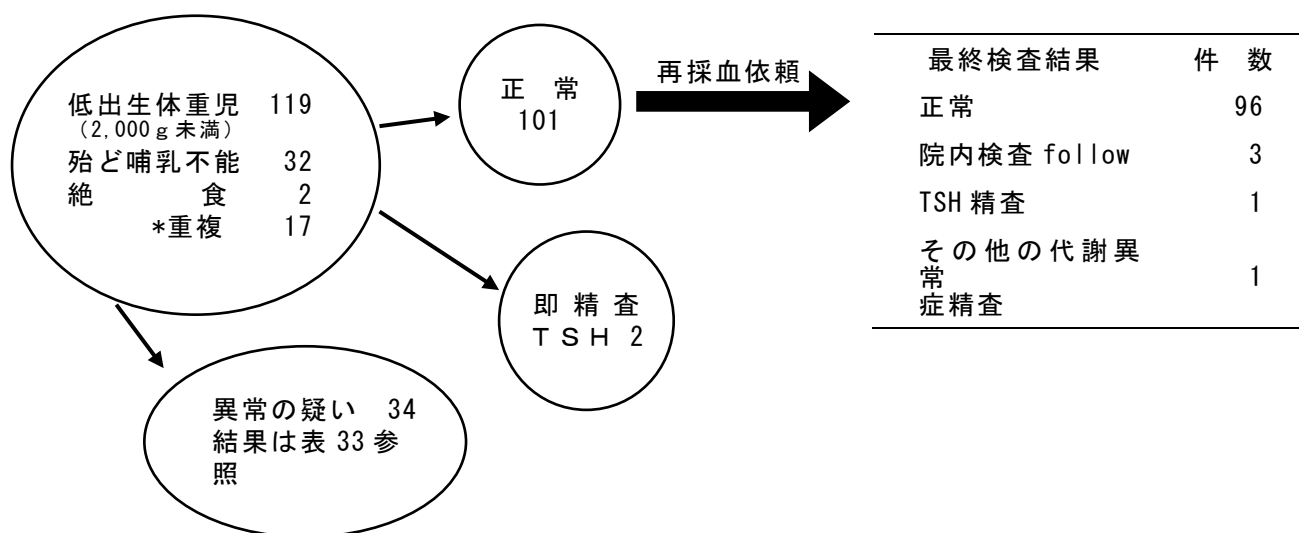


表 33 再採血、再々採血依頼の最終検査結果

対 象 疾 患 名	再 採 血 依頼人数	正 常	精 査	死 亡	院内検査 follow	県 外 follow
先天性甲状腺機能低下症	122	98	16	0	7	1
先天性甲状腺機能低下症 ＋ガラクトース血症	2	1	1	0	0	0
21-水酸化酵素欠損症 ＋先天性甲状腺機能低下症 ＋その他の代謝異常症	1	1	0	0	0	0
21-水酸化酵素欠損症 ＋先天性甲状腺機能低下症	4	3	0	1	0	0
21-水酸化酵素欠損症	39	38	0	1	0	0
21-水酸化酵素欠損症 ＋その他の代謝異常症	2	2	0	0	0	0
ガラクトース血症	38	38	0	0	0	0
ガラクトース血症 ＋その他の代謝異常症	1	0	1	0	0	0
フェニルケトン尿症	1	1	0	0	0	0
フェニルケトン尿症 ＋その他の代謝異常症	1	1	0	0	0	0
メープルシロップ尿症	3	3	0	0	0	0
メープルシロップ尿症 ＋ホモシスチン尿症	1	1	0	0	0	0
ホモシスチン尿症	1	0	1	0	0	0
その他の代謝異常症	31	29	2	0	0	0
合 計	247	216	21	2	7	1

5) 対象疾患別の精密検査依頼数について

表 34 に示すとおり、要精査率は全体で 0.43%、項目別では 0.00~0.26%で例年どおりであった。

表 34 対象疾患別の精密検査依頼数 (全 7,661 件中)

対 象 疾 患 名	精 査 依頼数	要精査率	精 査 内 訳		
			直接精査	再検精査	低出生体重児 哺乳不能児 再 検 精 査
フェニルケトン尿症	1	0.01	1	0	0
メープルシロップ尿症	0	0.00	—	—	—
ホモシスチン尿症	2	0.03	1	1	0
ガラクトース血症	3	0.04	1	2	0
21-水酸化酵素欠損症	3	0.04	3	0	0
先天性甲状腺機能低下症	20	0.26	3	16	1
その他の代謝異常症	4	0.05	1	2	1
合 計	33	0.43	※4 10	21	2

※4 複数項目 1 人 合計 9 人 10 件

6) 追跡調査結果について

要精査症例の追跡調査の結果、門脈体循環シャント 1 例、先天性甲状腺機能低下症 3 例、先天性甲状腺機能低下症疑い 2 例、一過性甲状腺機能低下症 2 例、乳児一過性高 TSH 血症 7 例、乳児一過性高 TSH 血症疑い 1 例、21-水酸化酵素欠損症 2 例、VLCAD 欠損症 2 例、SCAD 欠損症疑い 1 例、異常なし 5 例、不明 6 例であった。

2－6．特定保健指導

1) 概要

特定健診・特定保健指導において、当協会は医療保険者から委託を受け、厚生労働省が定める基準に沿って実施している。

特定保健指導には「積極的支援」「動機付け支援」「動機付け支援相当」の3通りの方法がある。

当協会は、医療保険者が健診結果に基づいて選定した40歳以上75歳未満の被保険者と被扶養者を対象に医療保険者の要請に応じた形態で特定保健指導を実施している。また、2023年度からは健診当日の初回面談（初回面談分割型）において、オンライン面談を導入している。

2) 支援内容

(1) 積極的支援

支援方法としては、①または②を行う。

①初回面談支援後、1か月ごとに電話支援を実施。

5.5ヶ月後にアンケートを送付し、6か月後に最終評価を電話支援で行う。

②初回および1か月後に面談支援を実施。

2か月後に電話支援を行い、3か月後に最終評価を面談支援で行う。

(2) 動機付け支援・動機付け支援相当

支援方法としては、①または②を行う。

①初回面談支援後、3か月後に手紙支援または電話支援を実施、6か月後に最終評価を電話支援で行う。

②初回面談支援後、1か月後に電話支援、2か月後に手紙支援、3か月後に最終評価を電話支援で行う。

※初回面談の方法としては、医療保険者の要請に応じて分割型または事後型を行う。

分割型：健診当日に初回分割①面談を実施し、1か月後に初回分割②面談で結果説明をする。

事後型：健診の2か月目以降に初回面談を実施する。

3) 結果

2023年度の特定期保健指導実施者数は305人であった。オンライン面談の導入により特定保健指導受託事業所が増加、それに伴い実施者数も前年に比し80人（35.5%）増加した。

指導内容の内訳として、積極的支援158人（51.8%）、動機付け支援144人（47.2%）、動機付け支援相当3人（0.9%）であった。

退職や服薬開始の資格喪失、本人の申し出によって途中脱落した対象者は、積極的支援46人（29.1%）、動機付け支援27人（18.7%）であった。

最終評価時に腹囲1cm以上の減少者は232人支援中119人（51.2%）で、平均2.4cmの減少がみとめられた。体重1kg以上の減少者は232人支援中85人（36.6%）で、平均1.2kgの減少がみとめられた。支援対象者中、腹囲と体重の両方達成者は72人（84.7%）であった。

4) まとめ

オンライン面談を導入したことで保健師の物理的移動時間を面談時間に充てることができ、日程も柔軟に対応できるようになった。その結果、遠方事業所の受け入れ、および同日の複数事業所の受け入れが可能となり、受託者数の増加につながった。

2024年度は、更なる充実を目指して新たにメールを活用する継続支援を検討中である。

事業年報 2023年度（令和5年度）

2025年9月発行

編集長 公益事業推進室 室長 倉本省治

編集人 公益事業推進室 河村 優衣

保健部 部長 杉野 隆司

保健部 部次長 田部 一則

発行  公益財団法人 山口県予防保健協会

〒753-0814 山口県山口市吉敷下東三丁目1番1号

TEL 083-933-0008（代）

ホームページ <https://www.yobou.or.jp>